

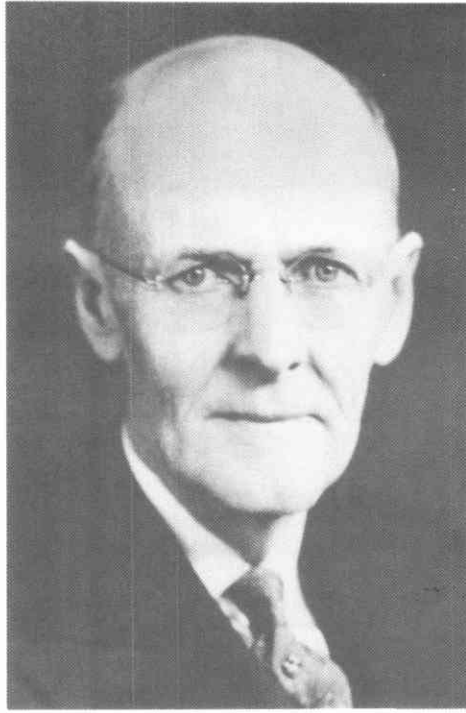
友愛と奉仕の 理想を求めて

創立30周年記念史

創 立 1960年(昭和35年)4月8日

国際ロータリー加盟承認
1960年(昭和35年)5月8日

認証状伝達式
1960年(昭和35年)11月12日



ロータリー創始者 ポール P. ハリス

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある；

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること；
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。



四つのテスト

言行はこれらに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリーの誕生とその成長

今から85年前の1905年、そのころ経済恐慌で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP. ハリスが3人の友人と語らって2月23日、第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。このクラブは着実に成長し、現在172の国家および地域に広められ、クラブ数25,244、会員総数は1,110,576人に達しています。これらクラブをメンバーとして国際ロータリーが構成されています。

国際ロータリーの最近の主要事業としては、地球上からポリオその他の伝染病をなくすため、約2億1,700万ドルを拠金、全世界の児童の予防接種を進めていることがあげられます。またロータリー財団を設けて、世界有数の国際奨学金事業を実施しています。

日本のロータリー

わが国のロータリークラブは1920年（大正9年）10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京にこれを創立し、翌10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後第二次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退するのやむなきに至ったこともありましたが、その間もよくロータリーの精神を堅持して会合に務め、その神髄と組織を維持し、戦後国際ロータリーに復帰するや、ますます発展、現在では北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数1,928会員数115,943人に達し、なおすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力を続けております。会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から定款により、1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

目 次

発刊のことば	阿南 育男	1
名誉会員、及びチャーターメンバー		2
歴代会長		3
10年間物故会員		6
20年の奉仕活動のあらまし		7
創立30周年記念委員会		9
創立30周年記念式典・祝賀会		
プログラム		11
30周年記念式典来賓		13
会長挨拶	阿南 育男	15
30周年記念委員長挨拶	濱砂 猛敏	17
祝 辞	松形 祐堯	18
祝 辞	長友 貞藏	19
祝 辞	岩下 哲夫	20
30周年記念事業について	松本 広行	21
記念事業助成団体とその活動内容及び礼文		22
表 彰		25
祝 賀 会		27
10年間の歴代会長時代の主な出来ごと		32
10年間のクラブ概況の推移		53
米山功労者・ロータリー財団寄付者一覧表		54
懐古録、ロータリーと私	竹野 融	55
ビバ・ロータリー「世界は面白い」	江田 祐典	57
第25回インターアクト年次大会		60
国際ロータリー会長・ノート	R I 会長ジェームスF・コンウェイ	66
モスクワにロータリークラブ結成		67
G. S. Eのホストファミリーを受けて	田崎博俊、前田暢俊、田崎高伸	69
ダリア賞制度とその運用について	日高 文雄	70
ダリア賞受賞者一覧表		71
社会奉仕基金運営委員会規程		72
古紙回収事業について	喜島健一郎	73
昭和61年度海外派遣研修報告書		74
昭和62年度海外派遣研修報告書		80
会員名簿		88
編集後記	角地 次男	105
委員会一覧表		106

発刊のことば

第30代西RC会長 阿南育男

宮崎市内では、2番目に創立されました宮崎西ロータリークラブが、早くも平成2年4月8日にめでたく30周年を迎えました。それを記念して式典祝賀会などを、ご来賓、県内外のロータリアンと、ともに挙行することができました。

もともと、親睦と友情の西ロータリークラブとして歴史と伝統が輝いていますが、地方奉仕活動に於ても、努力された先輩ロータリアンの方々が残してこられた数々の業績が高く評価されて来ました。

わが西ロータリークラブの創立30周年記念に際し、最近10年間の歴代会長のクラブ運営の年間方針と事業や、業績を中心として簡素ながら、この記念史を編集することに致しました。

すでに記念史として過去5周年史、10周年史、20周年史が発行され、そのときどきの若き日の先輩ロータリアンが活躍されたご様子がよく記録され、ご努力の足跡を伺い知ることができて大変感銘をうけているところであります。

このたびの創立30周年記念の各委員会には、全会員の多大なご協力をいただいたのでありますが、中でも記念史委員会の会員の皆様には最後のまとめ役として御多忙のなか30周年記念史の発刊をというご苦勞をお願いすることになりました。責任者として、角地次男委員長、田崎博俊副委員長には更にご心勞をかけたことと恐縮しております。

ご熱心なご努力と責任感によりここに立派に完成、発刊できますことを深くおよろこび申し上げます。最後になりましたが発刊までによせていただきました当クラブの全会員の皆様のご協力と友情に対し心からお礼を申し上げます。

名 譽 会 員



宮崎県知事
松形 祐 堯



宮崎市長
長 友 貞 藏



チャーターメンバー
住 田 静 一

チャーターメンバー



堀 久



竹 野 融

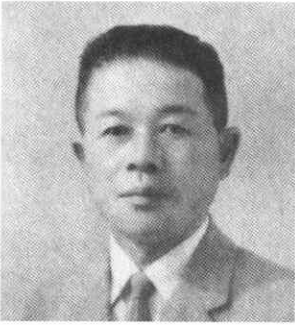


長 峰 市 次



宮 下 廣 計

歴代会長



初代（昭和35年）
田崎亀夫



2代（昭和36年）
栗林東五



3代（昭和37年）
佐原伝次郎



4代（昭和38年）
住田静一



5代（昭和39年）
菊池稔



6代（昭和40年）
長峰市次



7代（昭和41年）
竹野融



8代（昭和42年）
大古殿和丸



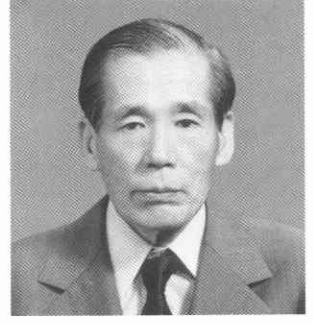
9代（昭和43年）
植松熊太郎



10代 (昭和44年)
吉賀幸夫



11代 (昭和45年)
橋本一郎



12代 (昭和46年)
竹内三郎



13代 (昭和47年)
郡嗣彦



14代 (昭和48年)
川邊政明



15代 (昭和49年)
日高文雄



16代 (昭和50年)
田中博規



17代 (昭和51年)
菊池彰



18代 (昭和52年)
安倍友彦



19代（昭和53年）
平山輝男



20代（昭和54年）
宮下廣計



21代（昭和55年）
橋本善吉



22代（昭和56年）
堺久



23代（昭和57年）
鈴木敏道



24代（昭和58年）
菊池皓一郎



25代（昭和59年）
岩井隆一



26代（昭和60年）
小川次男



27代（昭和61年）
日高照雄



28代（昭和62年）
内村龍祐



29代（昭和63年）
佐原正晃



30代（平成1年）
阿南育男

10年間の物故会員

物故された会員に対して
謹んで哀悼の意を表します。

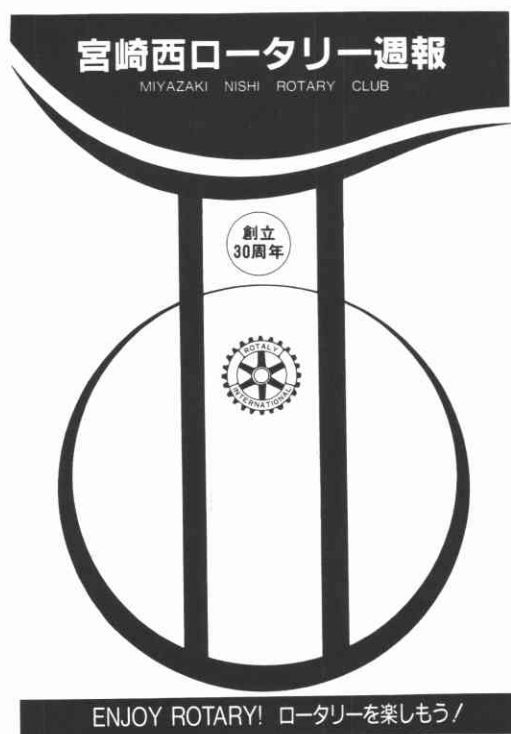
（平成2年4月8日 現在）

会 員 名	逝 去 年 月 日
上 村 宗 士	S. 59年6月28日
百 野 弘	S. 59年7月 2日
郡 嗣 彦	S. 59年9月23日
大 賀 義 人	H. 2年1月 3日

20年の奉仕活動のあらまし

1. ワンダーフォーゲル運動に毎年参加
2. ボーイスカウト連盟に毎年協力
3. 養護施設、老人ホーム、母子家庭等を毎年訪問し慰問、金品の奇贈
4. 会員の家族と共に歳末助け合い運動を開催して社会福祉施設へ毎年金品を寄贈
5. 青年会議所の高校生、中学生への奨学資金に協力
6. 大島中学校の講堂、大島保育園の新築に協力
7. 宮崎R. Cと協同で天神山公園に植樹
8. 宮崎R. Cと協同で宮崎銀行本店屋上に愛の鐘を設置
9. ひまわり学園に自動車寄贈
10. 児童福祉園にバックネットを寄贈
11. 身体障害者大会に寄付
12. 宮崎商業高校インターアクトクラブを結成
13. 宮崎盲学校にオルガン、ピンポン台一式を寄贈
14. 生日農村の老人に対し医療奉仕
15. 交通安全協会に黄色い旗を寄贈
16. 大淀川の指定水泳場に危険箇所の標識を寄贈
17. 職業奉仕賞としてダリア賞制度を設け44年8月より表彰
18. 宣教師クラーク氏の銅像建設に協力
19. インターアクトへ盲人用タイプライター2台を寄贈
20. 会員及びその職場における献血運動の実施
21. 日向学院短大の日本一周奉仕団への援助
22. 米国よりの交換学生の受入れ
23. 第二室戸台風、その他九州各地に発生した風水害に見舞金を贈る
24. 宮崎整肢学園児童を映画に招待
25. B. B. S運動（青少年不良化防止運動）に協力
26. 外国より交換学生と宮商インターアクト会員との交歓を主催
27. 創立10周年記念事業として宮崎市役所前公園のワシントンパームを照明するフットライトを寄贈

28. 昭和46年4月、宮崎西、宮崎、宮崎北、三クラブ合同のチャリティーバザーを開催して、その益金、約40万円にて宮崎市の要望により天神山公園にハマユウを象った滑台を設置した
29. 年末助け合い運動にインターアクト合同で餅をつき、各児童福祉園に配布
30. 社会奉仕委員会（養護院）皇寿園慰問
31. 九州、沖縄芸術祭入場券を老人福祉センターに贈呈
32. 真幸地方水害見舞金を募金し送金する
33. 宮崎県緑化推進委員会へ協力金を寄贈
（200万本植樹運動）
34. 社会奉仕基金活動に古紙回収現在継続中
35. 交通安全のため電池式拡声器を5個宮崎警察署に贈る
36. 重症心身障害者慰問、川南の施設に金5万円を贈る
37. 社会奉仕委員会古切手収集、身体障害者の機能回復訓練及びネパールの子供たちに日本のBCGを送るキャンペーンで古切手収集を数年継続した
38. ベトナム難民へ（西都市施設）会員1人当たり1,000円程の物品を贈る
39. ベトナム難民慰問、渡米前に必要な英会話の教材その他を石井友愛社に届けた



宮崎西ロータリークラブ週報の表紙図案は吉賀幸夫会員によってデザインされたもので1977年（昭和52年）度以来各年度によって色彩をかえて週報が発行されております。

創立30周年記念委員会

・創立30周年記念委員長 濱砂 猛敏

1. 総務委員会

委員長	井上 洋一	副委員長	喜島健一朗			
委員	南 隆一	佐伯 司朗	西岡恒之助	村上 四朗	坂本健太郎	
	柴田 博文	衛藤 清隆	日高 常一	外山 三博	新恵 誠	
	濱砂 猛敏					

2. 記念式典・祝賀会委員会

委員長	志多 克彦	副委員長	菊地 平			
委員	大塚 一止	高見 忠典	大藺 英治	中村 浩	尾藤 博澄	
	沼口 浩基	松原 和夫	山口賢一郎	飯田 憲三	橋本 一郎	
	橋本 善吉	丸山 大藏	前園 善彦	林 務	佐原 正晃	
	菊池皓一郎	秋山 久	鈴木 敏道	陶山 信		

3. 記念事業委員会

委員長	松本 広行	副委員長	吉田 多毅			
委員	稲倉 正孝	津守 康宏	宮下 廣計	田崎 高伸	江田 祐典	
	吉賀 幸夫	土屋 利紀	安倍 友彦	川邊 政明	日高 文雄	
	竹内 三郎	岩井 隆一	平山 輝男	岩満 栄策	竹野 融	
	日高 照雄					

4. 30周年記念誌委員会

委員長	角地 次男	副委員長	田崎 博俊			
委員	前田 暢俊	黒木 満夫	川野 良博	奥 彰	神崎 義世	
	原 忠之	門田 廣	荒川 隆	市来 斉	小林 貞雄	
	長峰 市次	内村 龍祐	小川 次男	菊池 彰	堺 久	
	岩切 宏海	井手脇万詔	飯泉喜八郎	大健 耕嗣	大江 幸政	

以 上

創立30周年記念
式典
祝賀会

THIRTY YEARS FROM THAT DAY



宮崎西ロータリークラブ

創立30周年記念式典・祝賀会 プログラム

式典・フェニックスの間<2F>

16:00……………登録受付

17:00……………点 鐘

国家斉唱

ロータリーソング

物故会員への黙祷

会長挨拶

来賓祝辞

宮崎市長 長友貞藏様

RI第273地区ガバナー 岩下哲夫様

記念事業発表並びに目録贈呈

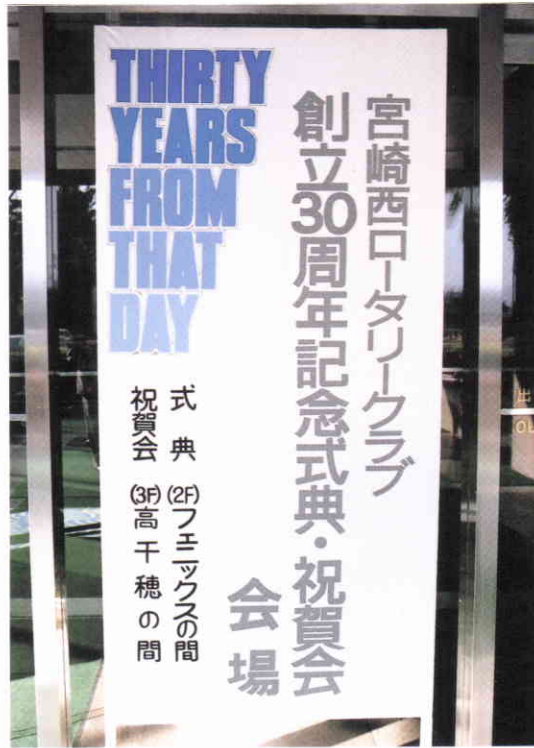
表彰状並びに記念品贈呈

17:50……………点 鐘

祝賀会・高千穂の間<3F>

18:00……………開 会

19:00……………お礼のことば・閉会



来賓受付

30周年記念式典来賓

宮崎市長	長 友 貞 藏	佐土原RC会長	垂 水 敏 雄
R I 第273地区ガバナー	岩 下 哲 夫	西都RC会長	小 倉 敦 男
R I 第273地区パストガバナー	島 津 久 厚	宮崎商業高校 インターアクトクラブ顧問教諭	後 藤 英 明
R I 第273地区パストガバナー	吉 村 武 文	米山奨学生	高 鍾 泰
R I 第273地区パストガバナー	丸 田 美 徳	名誉会員	住 田 静 一
R I 第273地区パストガバナー	外 山 三 郎	メモリアルコントリビューター	田 崎 賜 恵
R I 第273地区パストガバナー	池 田 卓 郎	宮崎県障害福祉課 課長	藤 崎 翼
宮崎県中部分区代理	宮 田 周 郎	宮崎県盲人福祉協会 会長	馬 場 弘 ち
宮崎RC会長	井 脇 敏 男	宮崎県手話サークル連絡協議会 会長	工 藤 定 信 隈 上 和 代
宮崎北RC会長	小 田 真 愛	宮崎おもちゃライブラリー代表	中 村 清 子 吉 本 三千代
宮崎南RC会長	宮 野 忠 博		
宮崎中央RC会長	秋 山 真 一		
日向RC…横川美雄	釜瀬紀生	新名久夫	島原義海 内山 卓
宮崎RC…猪野眞稔	愛甲隆一	柏原利忠	
宮崎北RC…郡征一郎	溝口隆博	平吉廣年	福井辰男 李 恒 福 原田實太郎 岡本英敬
宮崎南RC…新井昭男	田口 通	内村興治	小田晴之
宮崎中央RC…秦喜八郎	谷 岑昭	田崎 祐	岩城 徹
西都RC…大石太郎	図師鎮雄	平岩七朗	
串間RC…井手徳文	佐野輝美	藁部義則	
都城RC…黒木文雄	小久保健太		
都城北RC…水間久之	園田道雄		
都城西RC…淵脇次男	木之下茂 鎌田継男		
都城中央RC…山下昭一郎	外山正志		
小林RC…上谷一男	坂本新平	長崎純一郎	
小林中央RC…水間篤則			
日向中央RC…板東理文	奈須勝彦		



司会 菊地 平



国歌、ロータリーソング斉唱

会 長 挨拶

宮崎西ロータリークラブ

会長 阿南 育 男



御来賓ならびにロータリアンまた御家族の皆様、本日はよくおいで下さいました。

私ども宮崎西ロータリークラブはスポンサークラブである宮崎ロータリークラブさんの御援助により昭和35年4月8日に創立され、本日ここに30周年を迎えることとなりました。そこで30周年記念式典を開催するにあたり、御案内申し上げましたところ御来賓はじめ皆様方には公私ともご繁忙のなか私共のために貴重な時間を割いて御出席いただきまして、心から感謝申し上げます。またご来賓の皆様やロータリアンの皆様の友情に改めて感激しているところであります。

創立30周年を迎えるこのとき25名のチャーターメンバーの中で尚、当クラブを指導監督されながら御活躍中の会員の方にはPG竹野融君、長峰市次君、塚久君、宮下廣計君、の4名と名誉会員住田静一君の各元会長があり、皆お元気でいらっしゃいます。

当クラブは市内2番目創立のクラブとして伝統的に親睦と友情の基盤の上に奉仕の精神

を高揚させて来た歴史があります。

現在クラブ会員数80名と成長致しましたが今回、クラブ全員参加の協議と提案をもとに奉仕の心を重ね30周年を記念して記念事業を設定しました。その1つはボランティアの3奉仕グループに対するロータリークラブとしての心ばかりの御援助と当クラブ伝統の社会奉仕基金制度を利用した、文化関係、福祉関係、奨学援助などの巾広い領域を含んだ社会奉仕のプログラムを継続して実施することにあります。

これらの活動を含めて、今後私共は先輩ロータリアンに築いていただいた30年の輝かしい伝統の上に更に奉仕の理想を積み重ねていく努力をする所存でありますので暖かく見守り下さいますようお願い申し上げます。

終りにあたり、御多用のなか本日の式典に御出席いただきました皆様に心からお礼申し上げますとともに皆様の御多幸を祈念致しましてお礼の言葉とさせていただきます。



挨拶

30周年記念委員長

濱 砂 猛 敏



我が宮崎西ロータリークラブは、日本国内365番目、第273地区内10番目に創立された伝統あるクラブであります。ここに創立30周年を迎えますことは会員の皆様と共に大きな喜びとするところであります。

現在、創立当時のメンバー25名のうち4名がご健在で活躍されております。又20年以上会員の方が四分の一、10年未満の方が半数近くおられ、30周年を迎える想いも色々と深いものがあるものと思います。

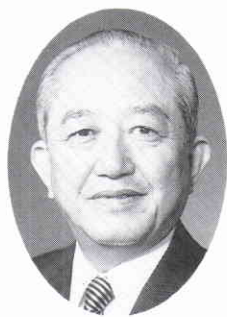
記念式典の及び祝賀会を開催するに当たっては特別委員会を設け協議を重ねてまいり、楽しく、質素に、スマートにをモットーに他のクラブにない楽しい雰囲気の中でお祝いしようと企画致しました。我が西クラブが新しい息吹きのもとに30周年の節目を機に更に発展することを祈る次第であります。

式典・祝賀会を通じ至らぬ点、不行届きの点が多々あるかと存じますが、皆様の温かき友情にてご寛恕の程お願い申し上げます。

祝 辞

宮崎県知事

松 形 祐 堯



宮崎西ロータリークラブの創立30周年をお喜び申し上げますとともに、記念式典が盛大に挙行されますことを心からお祝い申し上げます。

昭和35年4月、日本で365番目のクラブとして結成されて以来、常に県内クラブのリーダー的役割を果たされながら、ここに30周年という輝かしい記念の年を迎えられ、会員の皆様はもとより、関係各位のお喜びはひとしおのことと拝察いたしております。

この間、皆様方におかれましては、深い人間愛に根ざした“超我の奉仕”をモットーに、さまざまな社会奉仕活動に献身的にお取り組みいただき、活力ある地域の発展に、また、国際親善に大きく寄与しておられることに対し、心から敬意を表します。

特に、留学生への援助や青少年の健全育成、さらには、献血奉仕や職業奉仕賞の贈呈など、明るく住みよい社会の建設に多大なご貢献を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

さて21世紀まであと10年となりましたが、このような中で、豊かで希望に満ちた未来社会を切り開いてまいりますことは、現在に生きる私どもに課せられた大きな使命であらうと存じます。

本県におきましては、「日本一住みよい宮崎県」の創造をめざして諸産業の振興はもとより、総合交通網の整備、意欲ある人づくり、さらには、21世紀に夢を託すリゾート構想やニュー・シルバー構想などに積極的に取り組んでいるところであります。

このようなときに、皆様方が30周年を契機にさらに奉仕の理想を求め、友情の輪を広げられ、地域社会の発展と世界の平和に寄与すべく次の目標に向かって力強く第一歩を踏み出されますことは、誠に心強い限りであります。

ここに、宮崎西ロータリークラブの輝かしい前途を祝福し、会員の皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈りいたしまして祝辞といたします。

祝 辞

宮崎市長

長 友 貞 藏



このたび、宮崎西ロータリークラブが、めでたく創立30周年を迎えられ、盛大に記念式典が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、県内で6番目のロータリークラブとして、昭和35年4月に誕生し、本年30周年という意義ある年を迎えられたのでありますが、この間、歴代会長様を中心に、会員の皆様の並々ならぬ御尽力により、大きく充実発展されておられますことは、誠に御同慶にたえない次第であります。

申し上げるまでもなく、ロータリークラブは、崇高な奉仕理念のもとに、お互いの親睦を深めながら、地域社会の発展に尽くされ、また、国際間の理解と親善のために幅広い活動を続けておられまして、その御努力に対しまして、深甚なる敬意を表する次第であります。

さて、近年、我が国を取り巻く内外の情勢は、国際化、情報化の進展の中で、社会の成熟化の動きにますます拍車がかかり、世界の各国間、あるいは、国内の各地域間においても、政治・経済・文化等、各般の分野で交流と協調が進み、その相互の関係もさらに密接なものとなってきております。

このような中で、社会経済情勢の動向を的確に把握し、これに適切な対応を図っていくことが必要であると考えております。そのためには、地域社会のリーダーである皆様方おひとりおひとりの英知とご協力が大きな支えとなって参ります。

現在、我が郷土宮崎市は人口29万を擁する県都として、その責任と役割を果たしながら、着実に発展を続けております。

特に今年は、宮崎空港、宮崎新港も完成するなど総合交通網の整備に一定の目途がついたほか、快適な生活を送るための下水道整備も順調に進歩をみております。

今後ともさらに、全国に先駆けて承認を受けた「宮崎・日南海岸リゾート構想」の実現や生涯教育の核となります高等教育機関の充実など間近に迫った21世紀に向け、「活力と
うるおいにみちた文化の香り豊かなまち」づくりに懸命に取り組んで参る所存であります。

どうか貴クラブにおかれましては、この30周年を一つの節目とされまして、さらに本市の経済・文化の発展に一層の御協力を賜わりますようお願い申し上げます。

終わりに、宮崎西ロータリークラブの限らない御発展と会員の皆様のますますの御健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

国際ロータリー第273地区 ガバナー

岩 下 哲 夫



本日は、宮崎西ロータリー・クラブの創立30周年、お芽出度うございます。

当クラブは昭和35年4月、県下6番目のクラブとして、チャーターメンバー25名で誕生、現在その会員数3倍を越すほどに大きくなられたのみならず、各方面にわたって、多彩な奉仕活動を展開しておられることは、ご同慶の至りです。特に他に類例の少ない、奨学金制度、社会奉仕基金制度の設立、その実施面では高校生への奨学金の支給、宮崎市内教職員の近隣外国視察の支援、職業人の表彰、福祉施設の援助等々、この30年間に諸種の奉仕活動を計画的に制度化しておられることは、特筆すべきことであると思います。尚、地区インター・アクトの活動に対して特別支援の活動をやっておられることに対し、厚く感謝の意を表します。

クラブ週報で拝見したのですが、今回は、「行政の手の届かない分野のなかで、福祉の領域を対象として取り上げ、この方面に国民の目を向け、社会をよくする起爆剤」となるような事業を計画し、そして之をロータリアン個々の奉仕の心の高揚・誘発につなげてゆこうとのお考えの由、誠に真にロータリーの精神に副った奉仕活動であると敬服致しました。

宮崎西クラブがいつまでも若々しく、その会員とご家族が益々ご健勝であられんことをお祈りしてお祝いの言葉と致します。

30周年記念事業について



記念事業委員長

松本 広行

私共、宮崎西ロータリークラブが創立30周年を迎え、記念事業をどの様にするのか、30周年という大きな節目にふさわしい意義のあるものにしたい、そんな会員の思いがありました。

そこで、記念事業小委員会が組織され、先ず会員へのアンケート調査、そして、歴代会長をはじめ会員からのご提案をいただき、基本的に、福祉、文化、教育の中から何れにするか、委員会での検討を重ねた結果、今回は社会にあって不幸にして身体に障害をもっているめぐまれない弱い方々、又、それを支えているボランティアのグループに奉仕しようということで、県障害福祉課長のアドバイスもいただき、県内いくつもの組織、団体がある中で、公的な補助をうけてない3団体、盲人の方々の盲導犬基金、聴覚障害者の方々への県手話サークル、心身障害児へのおもちゃライブラリー、の永い間の地道な活動に対しこれを表彰し、金一封を贈ることに決めさせていただいた次第です。

寄付をうけられた3団体は、これが障害者、そしてボランティアの今後の活動の上に大きな勇気となり、明るい光となりましたと感激の喜びを寄せられております。

私共は、この30周年記念事業が、県内各界の善意の呼び水になった事と思います。



記念事業 助成団体とその活動内容

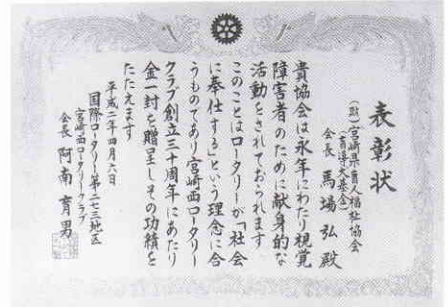
1. (財)宮崎県盲人福祉協会

会 長：馬 場 弘

所在地：宮崎市大島町北ノ原1031-1

会長宅：宮崎市船塚2-79 TEL20-9004

県内850人の視覚障害者で構成し、現在県立施設（点字図書館、点字出版施設、盲人ホーム）の委託運営、盲人福祉に関する啓発、県からの委託事業（点訳、朗読奉仕員養成事業）等の事業を積極的に行っている。協会の特別会計に盲導犬基金を設けているが、自主財源による積立が困難な状況である。



財宮盲発第3号
平成2年4月7日

宮崎西ロータリークラブ
会長 阿 南 育 男 殿

財団法人宮崎県盲人福祉協会
会長 馬 場 弘

盲導犬事業助成御礼

日頃は何かと視覚障害者の福祉のため御尽力いただき感謝申し上げます。

このたび盲導犬基金として一金50万円という多額の御助成を賜りまして誠に有難うございました。重度視覚障害者の生活には移動の自由がなく盲導犬はその自由獲得の手段としましてきわめて有効でございます。

国際障害者年の目標は障害者の「社会への完全参加と平等」と謳われておりますが移動の自由の無いところには社会への参加も不可能でございます。

盲導犬導入について長年県当局に要望してまいりましたところ昭和63年度ようやく一頭が実現いたしました。毎年の継続要望に対し平成2年度までは確保されましたが今後のみとおしにつきましてはなおきびしいものを痛感しております。

このようなときに貴宮崎西ロータリークラブの皆様より本当にあたたかい思召をもって多額の御助成をいただき唯々感激感謝致しております。

この度の快挙が今後県民一般の関心と理解を呼び盲導犬事業に拍車がかかることになればこの上ない喜びでございます。

貴ロータリークラブのご繁栄と会員の皆様の御健勝御多幸をお祈りいたし心よりの御礼にかえさせていただきます。

2. 宮崎県手話サークル連絡協議会

会長：工藤 定信

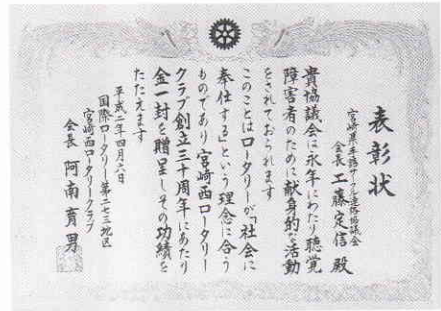
所在地：宮崎市原町2-22 県総合福祉センター内
宮崎県聴覚障害者協会

連絡先：事務局長 隈上 和代 氏（白）54-0672

（勤務先）51-3555

県内11地区の手話サークルの集合体で、会員数約300人。

地域における手話通訳活動（ボランティア）を行うとともに、手話技術の向上、聴覚障害者団体との交流を図るために、県段階での研修会、九州規模での研修会の開催など幅広い活動を展開している。



謹啓、この度は貴会が創立30周年を迎えられ盛大なる記念式典が開催されましたことを心よりお祝い申し上げます。

又、今回私共、宮崎県手話サークル連絡協議会の活動に深いご理解と、ご支援を賜わり、会員全員に代わりまして、厚くお礼申し上げます。

日頃皆様方と一緒にする機会も中々ございませんでしたが、今回の皆様方からの温かいご支援を心の支えとし、今後も手話通訳活動、聴覚障害者を初め身体障害者全ての福祉の向上を目的として努力して行く所存でございます。

今後ともより一層のご指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。

会長様より、会員の皆様によりしくお伝え頂ければ、幸いに存じます。

この度は、誠にありがとうございました。

最後になりましたが、貴会の今後の増々のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

謹言

平成2年4月8日

宮崎県手話サークル連絡協議会
会長 工藤 定信

宮崎西ロータリークラブ会長
阿南 育男 様

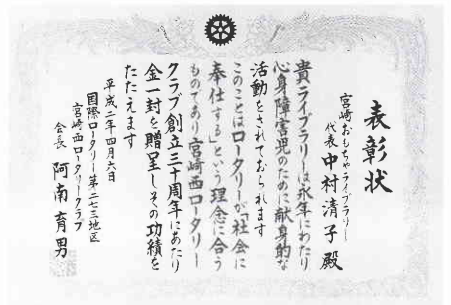
3. 宮崎おもちゃライブラリー

代 表：中村清子

所在地：宮崎市祇園1丁目50つくし園内

連絡先：代表宅 清武町池田台5-8 TEL85-6154

宮崎市の心身障害児施設つくし園を借りて、ことばの遅れや身体のハンディキャップから自分を表現できない子どもたちのために、遊具、玩具を提供し、障害を持つ子どもも持たない子どもも、自由に遊び、互いにふれあうとともに、子どもたちにお気に入りのおもちゃを貸し出すことにより、子どもたちが楽しく遊び、その子自身が伸びていくことを目標としている。



平成2年4月10日

宮崎西ロータリークラブ
会長 阿南育男殿

宮崎おもちゃライブラリー
代表 中村清子

記念事業による助成への御礼

先日は、西ロータリークラブ30周年記念式典にお招きいただきまして、有り難うございました。そして、記念事業として私共、行政の手のとどかない団体に多額の援助をしてくださって心より感謝申し上げます。

西ロータリークラブは市内2番目創立の歴史のあるクラブと祝賀会場で伺いまして、パーティの雰囲気にも伝統が感じられました。このたびの記念事業で、このような企画を選ばれた事も、皆様の伝統ある奉仕の精神の延長線上にあると深く感銘いたしました。

私共、おもちゃライブラリーは障害を持つ子供も持たない子供も、自然に交わりあえる夢あふれる場所として永続性のある活動を続けていくつもりです。皆様方の暖かいお志を形のある「夢」にかえていくよう努力していく所存です。今後とも暖かい励ましと、ご指導をお願い申し上げます。

西ロータリークラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。 まずは御礼まで。

表 彰

地区大会最多出席

竹 野 融



名誉会員（チャーターメンバー）

住 田 静 一



チャーターメンバー表彰受賞者

宮 下 廣 計 長 峰 市 次
堺 久 竹 野 融



通算20年以上無欠席表彰受賞者

長 峰 市 次	吉 賀 幸 夫
橋 本 善 吉	川 邊 政 明
堺 久	日 高 文 雄
鈴 木 敏 道	橋 本 一 郎
菊 池 彰	竹 内 三 郎
角 地 次 男	日 高 照 雄
菊 池 皓一郎	



古紙回収事業協力者へ記念品贈呈

太 田 アサ子

宮崎西ロータリークラブでは資源を大切にするという理念のもとに、古紙回収を実施しております。

元宮崎RC会員故太田良一さんは、この事業に感動され多年に渡り回収日には古紙を持参頂きました。

祝 賀 会

記念式典、祝賀会委員会の発想によって、楽しく、質素に、スマートにをモットーに、他のクラブにない楽しい雰囲気の中でお祝いしようと企画致しました。すべて挨拶ぬきでバックミュージックの流れるなか（水ワリ）を片手に祝賀会場へ御入場いただき（どうぞ自由におとり下さい）のナレーションによって豪華な食事に箸をつけられ始めた会場周囲には、えびの生きづくりあり、ローストビーフありターキーのタタキありフランス料理では。

カウンターでは多種の美酒が並べられバニーガールの接客によって好みの酒をいただき、お客様もさぞ御満足いただけたと思っております。祝賀会も終盤になり、濱砂記念委員長のお礼の言葉を頂き、更に手に手つないでのバックミュージックの流れるなか、盛大のうち無事終了した。



30年の喜びを噛みしめられているチャーターメンバー



式典も無事終了して一安心



祝賀会委員長もバニーガールの前で満足そう



ご家族の方も対話に花をさかせての食事



コックさんもほんとに忙しい



美酒もかなりきいて会員の皆さんも御機嫌



歴代会長さんも満足



ガバナーも腹の中はにんまり



30周年記念委員長 お礼のことば

歴代会長時代の主な出来ごと

1980年～1981年（昭和55年～56年）



21代 会 長	橋 本 善 吉
副 会 長	菊 池 皓 一 郎
幹 事	江 田 祐 典
ガバナー	福 島 親 比 古

◇ RI会長名（日本語）…………… ロルフ J・クレアリッヒ

ターゲット（日本語）…………… 時間を捧げよう 奉仕のために

◇ 会 員 総 数 83名, 平均 年 齢 52.9才

◇ 出席率（年平均） 96.22%

◇ ロータリー財団寄付 289,080円

◇ クラブ年度予算 13,582,110円

 会 員 会 費 12,000円

 ビジター費 1,600円

◇ 年間のクラブ運営方針

ロータリーの原点に溯って認識をあらたにし、特に下記の二項目に重点をおいて、バランスのとれたクラブ運営を図りたい。

1. 1980年度地区大会の完全なる遂行

2. 会員相互の親睦融和

◇ 会長時代の主な出来ごと

一年単位のロータリークラブも30回の繰返しを経過するとなかなか味が変わったものになる。各年度毎のクラブ財政状態、ガバナーの執着度、会員数、持回りカンフェレンスの開催、などによって変化を余儀なくされた様に見受けられるが、何れの変化も宮崎西ロータリークラブのあるべき理想を求めた結果のなせるわざと思われる。

最近の例で言うならばG, S, Eの受け入れ諸行事が国際奉仕委員会の御苦勞を相煩した様に見受けられること。に奇、異な、感じを抱かれた人はないのでしょうか。

G, S, EはR財団の資金で運営されていると聞いています。R財団委員会がコミットしなかった理由は一体何だったのでしょうか。理由は何であれ宮崎西クラブとしては責任を果たしたのであるから、それでよいのかも知れません。

釜山西クラブとの姉妹クラブ締結がなされなかった理由については年を重ねるにつれ曖昧になるおそれもある。複数の理由の中第一はこの文の冒頭の如くロータリーが年単位であることである。他のクラブのそれに見られる如く一年単位の契約は一笑に付せられるおそれがあった。理由の第二は二分された国家の片方と言うことであった。モスクワにもR, Cが誕生した事実からもこの選択は間違いでなかったことは自明の理に外ならない。30周年、越し方、行く末、こもごも想を馳せたいものである。

1981年～1982年（昭和56年～57年）



22代 会 長 堺 久
副 会 長 百 野 弘
幹 事 佐 原 正 晃
ガバナー 大久保 圭一郎

- ◇ RI会長名（日本語）…………… スタンレー・E・マッキャフリー
ターゲット（日本語）…………… ロータリーを通じて世界理解と平和を
- ◇ 会 員 総 数 84名, 平均 年 齢 54.59才
- ◇ 出 席 率（年平均） 94.97%
- ◇ ロータリー財団寄付 289,080円
- ◇ クラブ年度予算 14,491,242円
- 会 員 会 費 12,000円
- ビジター費 1,600円

◇ 年間のクラブ運営方針

私は、昭和35年4月8日、西ロータリークラブの創立と同時に入会させていただきました。当時のチャーターメンバーは25名で現在8名在籍で最後の一人として一年間会長を勤めさせていただきます。

本年は、特別な行事もありませんので、クラブ運営につきましても、皆様のご協力を

いただきまして気楽な例会にしたいものだなと思っております。役員及び委員長には、ベテランの方・若い方にもお願いしておりますので、大変ご苦勞と思いますが、よろしくお願い致します。

1981年～82年度の国際R I 会長スタンレー・マッキヤフリー氏の今年のテーマは、“ロータリーを通じて世界理解と平和を”ということで、特に273地区大久保カバナーから今年度の方針として各クラブののテーマは一切取り止め、“ロータリーを 通じて世界理解と平和を”を統一テーマとして推進するようにとの希望がありました。

ロータリーを通じてとなりますと、ロータリアン個人個人の奉仕が基礎となろうかと想います。まず、全員一人一人の理解が必要であり、職場及び家庭に於いて、まず世界理解を呼び掛けていただくことより出発し、クラブとして何が出来るか、国際ロータリーとして何をしてもらうかを検討する必要があると思います。

ロータリークラブの活躍の理念は、今更申し上げるまでもなく、職業奉仕が基本であります。ロータリアン一人一人が職業奉仕がどうあるべきかを考え、職業道德倫理を自分の職業の中に浸透させることにより、職業の品位を高めるよう身近なところより始めるべきだと考えます。

各委員会の活発な活動を推進し、より一層親睦を深め、会員相互の理解を高めることを重点的に考え、宮崎西クラブの発展を図りたいと考えております。

◇ 会長時代の主な出来ごと

(イ) クラブの親睦

委員会の活発な活動と出席の向上につとめ、親睦の向上につとめる。

(ロ) 会員の増強

未充填職業欄の充填に若い会員を推進してもらう。

(ハ) 奉仕活動

1. 職業奉仕 ダリア賞・職場訪問
2. 社会奉仕 社会奉仕基金制度充実
 チャリティー・バザー
 献血奉仕
3. 国際奉仕 交換学生の受入
 交換学生の選出
4. 青少年奉仕 青少年野外活動
 青少年のための本100冊寄贈
 勤労青少年の表彰

宮崎各クラブで交換学生3名を受入れることになった。

昭和56年8月24日交換学生マーガレット・ウィッリィ（マージ）をホームステイさせる。ペンシルバニア出身19才・ハイスクール卒であったが、9月1日より大宮高校に入学剣道部に入部する。趣味はフルート、アメリカ娘の気質に似合わずおっとりとして、素直・温厚な性格でほっとする。すぐ、家族ともとけ込み、早く日本語に馴れるように夕食、入浴後日本語の勉強を家内がさせるが、1時間がやっと、あまり強制的にしてもいい学生生活の中で自然に覚えるだろうと、家庭では日本の文化生活に触れさせるように勤めた。

9月15日に丁度大阪の四天王寺で法事があり、日本の仏事を見せ、翌日より大阪城等大阪観光・京都特に金閣寺等京都観光と日本の古い文化にふれさせ、丁度開催中の神戸ポートピアに行き10月10日は親戚の結婚式に参加、花嫁姿を見て“How beautiful”を連発、本人もピンクのロングドレスがお好にいい。10月31日は、私の眼鏡、アロハシャツ、ネクタイを身につけ、ハーロイン・パーティーで思いきり遊び、本人も家族もすっかり遠慮がなくなった頃、次の宮崎北ロータリー会長岡本英敬氏宅に引き継いだ。

後日、家内がアメリカ旅行の折、ニューヨークにて御両親共々観光案内をしていただいたという。将来は、設計技師を希望、再び来日したいと言っていた。

来日学生は、マージ・メラニー・キムの3嬢

昭和56年11月 メラニー嬢受入……前田氏

昭和57年4月 キム嬢受入……………百野氏



1982年～1983年（昭和57年～58年）



23代 会 長 鈴 木 敏 道
副 会 長 榊 本 正 久
幹 事 前 田 暢 俊
ガバナー 杉 村 進

◇ RI会長名（日本語）…………… 向 笠 広 次

ターゲット（日本語）…………… 人類はひとつ、世界に友情の橋をかけよう

◇ 会 員 総 数 81名, 平均年齢 55.11才

◇ 出席率（年平均） 93.24%

◇ ローターリー財団寄付 257,900円

◇ クラブ年度予算 13,554,556円

会 員 会 費 12,000円

ビジター費 1,600円

◇ 年間のクラブ運営方針

「職業奉仕の実践」「親睦」「明るい例会」

◇ 会長時代の主な出来ごと

◎ 昭和57年8月26日ガバナー杉村 進ご夫妻（中部地区区分代理成合正治氏随行）の公式訪問を受け、その夜行う予定のクラブ協議会は台風接近のため国鉄運行中止の報導で急遽取り止め、ガバナー御夫妻にお帰りをお願いした。こんな事は西RC初まって以来初めての出来事であった。

◎ 昭和58年3月19日から22日迄の4日間西ロータリークラブ有志10名で故宮博物館見学とゴルフ会を兼ねて訪台を致しました。中でも21日は観光を取り止めてアンバサダーホテル12Fで行われました台北東RC例会に全員で参加致しました。

台北東RCは創立20年、会員数60名のクラブで台北にある14RCの中では6番目に設立されたクラブです。

ロータリークラブを現地の文字では「扶輪社」と書きますが会長は社長と呼ぶのだそうです。会場には大きな字で「天下一家」と書かれており、当時社会問題となって

いましたねずみ講の会場ではないかと驚かされました。これは当時のターゲット「mankind is one」（人類は1つ）の中国式書き方だそうです。会員の一割近くは日本語が話せて我々の囲りにその方々が着席され、特に私達のために日本のにぎりを用意されて、沢山の御馳走を頂戴致しました。

全員心温まる歓待でロータリークラブの友情に感謝しつつ帰途につきました。

何等かの形で台北東RCの皆様方の御厚情にお答え出来る機会は無いのだろうか
と常に心密かに思っております。

1983年～1984年（昭和58年～59年）



24代 会 長 菊 池 皓一郎
副 会 長 角 地 次 男
幹 事 佐藤信夫 吉田多毅
ガバナー 丸 田 美 徳

- ◇ RI会長名（日本語）………… ウィリアムE, スケルトン
ターゲット（日本語）………… みんなにロータリーを – みんなに奉仕を
- ◇ 会 員 総 数 82名, 平均 年 齢 55.61才
- ◇ 出席率（年平均） 93.43%
- ◇ ロータリー財団寄付 291,620円
- ◇ クラブ年度予算 13,649,858円
- 会 員 会 費 12,500円
- ビジター費 1,600円

◇ 年間のクラブ運営方針

スケルトンRI会長は『みんなにロータリーを – みんなに奉仕を』と現実を直視し、実務的なターゲットを示されました。我々も長びく不況のもと、多難な時局を迎えております。今こそロータリーの原点であり、又、当クラブの伝統でもあります親睦・友愛をより一層深め、各委員会の活発な活動を推進し、会員相互の理解を深めるため、本年はクラブ運営の重点をプログラムと親睦におき、宮崎西クラブの益々の発展を図りたいと思っております。

1984年～1985年（昭和59年～60年）



25代 会 長 岩 井 隆 一
副 会 長 日 高 照 雄
幹 事 喜 島 健 一 郎
ガバナー 田 中 千 尋

- ◇ R I 会長名（日本語）………… カルロス・カンセコ
ターゲット（日本語）………… 見つけよう 奉仕の新生面
- ◇ 会 員 総 数 76名, 平均 年 齢 56.26才
- ◇ 出席率（年平均） 93.24%
- ◇ ローターリー財団寄付 308,330円
- ◇ クラブ年度予算 13,872,457円
- 会 員 会 費 13,500円
- ビジター費 1,700円

- ◇ 年間のクラブ運営方針
 - (1) 各人奉仕の新生面を見つけ実践しよう。
 - (2) 進んでロータリーに参加しよう。

◇ 会長時代の主な出来ごと

昭和60年 4 月12日

- 例会終了後西ロータリークラブ創立25周年祝賀会開催
来 賓；外山三郎ガバナーノミニエ、ウタ子夫人、細川義一部分区代理、森迫幹雄
日向クラブ会長、井脇敏男宮崎クラブ会長、加藤孝夫宮崎北クラブ会長、橋口正樹宮
崎南クラブ会長

留学生	米山奨学生	呉 銘 芳	台 湾
	宮大留学生	韓 志 朗	
	〃	アントニオ・カスティロ	フィリピン

式 次 第

- 1) 国歌斉唱
- 2) ロータリーソング 奉仕の理想
- 3) 会長挨拶
- 4) 来賓紹介
- 5) 祝電披露
- 6) 感謝状贈呈
- 7) 乾 杯
- 8) 祝 宴

本日の記念祝典に当り来賓各位をご招待もし上げましたところ、ご多忙にもかかわらずご臨席いただき会員一同厚く御礼申し上げます。

RCはシカゴにて誕生し本年で80年になります。宮崎西RCはS35年4月8日に創立され本日25周年を迎え目出度く輝かしい記念祝典を挙行することができ、会員の皆様と共にご同慶の至りであります。

今から80年前の1905年、南北戦争後のシカゴは経済恐慌に陥り、人心は荒廃し、「悪徳と腐敗の町」と謂われて犯罪は巷に満ちている有様で、之を憂えた一青年弁護士ポールハリスは良い社会をつくる為には人の和を図り世の中に奉仕する気持ちを多くの方が持つようになることが大切であると考え、3人の友人と語り2月23日に第1回の会合を持つに至りました。彼の理想は着実に発展し国境を越えて各国に拡がり、1922年には国際ロータリーと呼ばれるようになり、現在159ヶ国、クラブ数20,879会員数 953,500人に達する規模にまで発展して参りました。

日本のRCは1920年（大正9年）米山梅吉氏に由って、世界で885番目に東京に設立されたのがはじまりで戦後は目覚ましい発展をとげ、クラブ数 1,640、会員92,800人に及び、現在なお日本のすべての都市や町にRCが出来る様に努力が続けられ、之は会員がすべて住み良い世の中を目指してロータリーの奉仕の理想を拡めようとの強い願いのあらわれであります。

宮崎西ロータリークラブは、宮崎ロータリークラブの福田甚二郎氏を特別代表に、中村英太郎、志田熊吉氏を世話人としてチャーターメンバー25名、初代会長田崎亀夫氏に依り発足いたしました。爾来24代の歴代会長、幹事、会員の努力により現在会員

79名、伝統的な親睦と友情の中にロータリーの奉仕の理想に満ちたクラブとして着々と発展して参ったのであります。

併し乍らクラブ誕生の為に御苦労頂いたこれら四氏とも故人になられご尊顔に接することも今日のクラブの発展を見て頂くことも出来ないのは誠に残念の至りであります。そのご遺徳を偲び慎んでご冥福をお祈り致し度いと存じます。

又会員として在籍中にご逝去されました故三原七郎、田崎亀夫、大古殿和丸、菊池稔、矢田雅嗣、木浦義雄、上村宗男、百野弘、郡嗣彦の各氏に対しましても哀悼の意を表し本日の式典をご報告申し上げ慎んでご冥福をお祈り致す次第であります。

我クラブとして奉仕活動の一端として天神山公園植樹、職業奉仕ダリア賞の制定、インターアクトの育成、宮商に対する奨学金制度の実施強化、アフリカ難民への援助等々地味乍ら地域社会への奉仕活動を行って居ります。

宮商の奨学資金では、5週年記念より20年間続いた継続事業として今日6名の生徒に対して援助致して居りますが、次年度より又1、2名増員出来るのではないかと楽しみにして居ります。

- 。 本日の輝かしい式典に当り会員各位は己が職業を通じて社会に奉仕する決意を新たにすると同時に、親睦と友愛に溢れた宮崎西RCの発展を会員の皆さんと共に祝福し未来へと力強く前進することを誓いましょう。

昭和60年5月31日

司会（岩井会長）

- 。 ビジター紹介 本日は特にダリア賞表彰のお客様として安井さち子、後藤よし子の御二人を御紹介致します。

職業奉仕委員会（内村委員長）

- 。 本年度ダリア賞表彰式
受賞御挨拶
- 。 今回この様な表彰を受け夢の様でございます。組合員一同心から喜び感謝致しております。早や15年を迎えましたが、現在の組合になるまでには、色々な経過をたどって参りました。市の方から老人対策問題として杞柳細工の話がありそれを婦人会事業に取り図ってもらえる様依頼したところO・Kの返事をいただき婦人会の事業の一環として取り組んだのです。市の協力を得45～47年頃までに技術講習会を開き川見先生

を講師とし70名が参加しました。失敗を繰返しながらも成功した時の喜びはひとしを
 でした。然しこの様に手間がかかる割には収入が少く幾度も挫折しかけた事もありま
 す。47年頃苗を高知県より取寄せ移植しましたがその後ある方が原木で編んで来られ
 ましたが、これが何とも素朴で且つ美しいのでこの原木杞柳の製品化に力を入れたの
 でした。49年頃この仕事を組合組織でやろうと宮崎杞柳生産製品組合を発足し、20名
 位で再スタートしたものです。美しい製品を作るには良質な材料生産をモットーにし
 て大へん苦勞したものです。今後も更に研究を続けたいものです。

最近では原木杞柳は他県になく宮崎の方は勿論他県のお客様も多くなり力強く思っ
 ております。今後も皆様に喜んでいただける様にデザイン研究、良い杞柳製品作りをし
 てゆくつもりです。又宮崎の地場特産品として根強く残して行くためにも後継者作り
 に頑張ります。

今後とも皆様の温い御指導をたまわります様お願い申し上げます。以上生産の経過
 の一部を申し上げ御挨拶にかえさせていただきます。

1985年～1986年（昭和60年～61年）



26代 会 長 小 川 次 男
 副 会 長 西 岡 恒之助
 幹 事 志 多 克 彦
 ガバナー 外 山 三 郎

◇ R I会長名（日本語）………… エドワードF・カドマン
 ターゲット（日本語）………… あなたが鍵です

◇ 会 員 総 数	80名,	平 均 年 齡	55.15才
◇ 出席率（年平均）	93.95%		
◇ ロータリー財団寄付	462,710円		
◇ クラブ年度予算	15,318,506円		
会 員 会 費	13,000円		
ビジター費	1,700円		

◇ 年間のクラブ運営方針

例会その他の会合に積極的に出席して、親睦と友愛を深め、ロータリー活動を活発に展開していくよう推し奨める。

◇ 会長時代の主な出来ごと

1985～1986年度は旧273地区（熊本、大分、鹿児島、宮崎—94クラブ）が二つに分割され、鹿児島と宮崎が新273地区（46クラブ）として発足した気分も新たな年度でした。ガバナーは宮崎北RCの外山三郎氏で、ロータリーの各行事が殆んど宮崎で開催され、職場を離れにくい者にとっては好都合なことでした。

この年度の主なできごとを列挙すると次の通りです。

1. 公式訪問 8月30日
2. 第273地区大会 サンホテル・フェニックス 10月12, 13日
3. 西都RC認証状伝達式 11月2日
4. 三代会長佐原伝次郎氏送別記念行事 12月27日
5. 第8回青少年指導者養成研修会 宮崎県青少年自然の家 6月7, 8日
6. 宮崎中央RC認証状伝達式 6月14日

第8回青少年指導者養成研修会（RYLA）はわが西クラブがホストとなりましたので、これについて当時の記録を繙きながらご説明したい。

そもそもRYLAとは、Rotary Youth Leadership Awardの略語ですが、1959年オーストラリアのクインズランド州自治権獲得百周年祝賀のため派遣された、イギリスのアレクサンドラ王女に、同年代の青少年を合せようということが計画され、ブリスベーンRCがホストをつとめたことに始まります。この行事が好評裏に終わったので、その後毎年各クラブから2名の青年を選んでブリスベーンに招待し、文化社会教育プログラムに参加させるようになりました。

その後、このプログラムがロータリーの青少年奉仕活動に相応しい行事であるということで世界にひろまり、273地区（旧）では昭和54年4月に第1回研修会が阿蘇青年の家で開催され、以来毎年開催されたが、昭和59年より二ブロック（熊本・大分、鹿児島・宮崎）に分けて実施され、60年からは各県毎に行われるようになった。

7月14日、地区青少年奉仕の県下の合同委員会が開催され、当年度のRYLAのホストとしてわが西クラブが選定されたので、それをうけて青少年奉仕委員長の喜島健一郎

氏にその準備をお願いした。喜島委員長は、前年度のRYLAの記録をつぶさに検討し、運営上の重点項目として、イ) RYLAの目的に相応しい講師の選定、ロ) テーマに沿った具体的内容をもつ講話、ハ) 無理、無駄のないプログラムの三項目をあげ、地区役員と連絡を蜜にとりながら各種会合で種々検討を行なった結果、研修会のテーマを「ライフプランと実践」と決定し、講師として森重隆氏（元新日鉄釜石ラグビー部監督）と、安藤キクノ氏（宮崎市ひかり幼稚園副園長）が選定された。

研修会には研修生として男53名、女51名計104名が参加した。第1日目にはホストクラブの会長として私が歓迎のことばを述べ、塩見一郎地区青少年奉仕委員、外山三郎第273地区ガバナーの挨拶、森重隆氏講話、グループディスカッション、キャンプファイヤー等があり、第2日目には清掃奉仕、安藤キクノ氏講話、グループディスカッション、アンケート調査等があり、田口通地区野外ライフ委員長の感想発表をもって閉会となった。

アンケートによると全体として良かった96%、講師については97%が良かったと答えており、運営面での不満が13%あったものの全体として成功裏に研修会を終えることができたと考えられた。喜島青少年奉仕委員長はじめ関係諸氏の並々ならぬご苦労に感謝申し上げた次第である。

その他の行事もそれぞれ思い出は多いが、紙面の都合上記録をご参照頂くこととして割愛させていただきます。

昭和58年末、菊池皓一郎会長から次々期会長に推せんしたいという電話を頂いたが、その声はまさに晴天の霹靂以上の衝撃的なもので、気の小さい私をショック状態にしました。クラブ入会時の推せん者である故郡嗣彦先生に、ロータリアンは役職を断ってはならないという教えを忠実に守って来た私であるが、事は余りにも重大、早速ご相談申し上げたところ、それなりの理由があれば断ってもよいと言われ一瞬安堵はしたものの、考えてみれば、これという断る強力な理由がなく、自信がないままお引受けすることになった次第である。その後の悩み、諦め、模策、試行錯誤、開き直りという経時的な心理的变化については、6月27日最終例会の退任挨拶で述べた通りである。（会報参照）

幸い会員諸氏の友愛により任期を大過なく終えることができたが、これもひとえに不安な心にゆれる会長を激励し、絶大なご協力を賜った志多克彦幹事や西岡恒之助副会長他理事役員各委員長諸氏のご支援の賜であると、改めて深甚の謝意を表する次第である。

1986年～1987年（昭和61年～62年）



27代 会 長 日 高 照 雄
副 会 長 阿 南 育 男
幹 事 新 恵 誠
ガバナー 岩 澤 光 男

- ◇ RI会長名（日本語）…………… M・A・T カバラス
ターゲット（日本語）…………… ロータリーは希望をもたらす
- ◇ 会 員 総 数 76名, 平均年齢 55.99才
- ◇ 出席率（年平均） 93.47%
- ◇ ロータリー財団寄付 1,079,860円
- ◇ クラブ年度予算 16,465,952円
 - 会 員 会 費 14,000円
 - ビジター費 1,800円
- ◇ 年間のクラブ運営方針

- ① 西RCの28年に及ぶ歴史と伝統の中で、他に比して我がクラブのなごやかさは先輩から引きつがれて来たもので、親睦の良さの表れであると思います。西RCは明治生まれ、大正生まれ、昭和生まれの三世代にまたがって会員が構成されているので、他の団体とは異なる数少ない特徴でありますので人生の先輩と後輩の融和をはかるべく更に親睦の強化を目標として年度後半の計画を進めて行きます。
- ② クラブの重要な基本であります会員増強も今年度後半の重要な目標で最低80名以上の確保をしたい。昨年度は中央クラブの創立のため自己のクラブ会員増強をしなかった為、今年は会員全員が多く候補者の推せんを出すことによって目的を達したい。
- ③ 国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会に於ては合同計画として、近年特に小中学校等で社会問題として大きく取りあげられているいじめや非行などの問題について西RCとして問題解決に対してどの様なお手伝い出来るだろうかと相談の上、宮崎市教育委員会と共催で小中学校の先生方を本年2名推せんいただき、近隣諸国に派遣研修を行う計画を進めております。

今回は香港、台湾におもむき、政治、文化の異なる国ではあるが同じアジア民族としてどのような状況であるか、短い期間ではあるが青少年健全育成についての見聞を広めていただき、その波及効果と刺激が学校教育関係者やPTAに良い成果が生まれることを西RCとして期待しております。

- ④ 以上の様な活動を、機会を見ながらマスコミにニュースとして提供し、ロータリーの姿勢を広く市民の皆様に理解と親しみを感じてもらう様に広報委員会は強力な働きかけをしており、すでに2～3回にわたりテレビ、地元紙に今回の派遣研修計画のPRがなされ、行事の進行にともなって更に数回の広報が行われる予定があります。
- ⑤ 以上が重点的に行う活動で、他の委員会もそれぞれの分野での計画は着実に進められております。

1987年～1988年（昭和62年～63年）



28代 会 長 内 村 龍 祐
副 会 長 重 城 寿 雄
幹 事 高 見 忠 典
ガバナー 池 田 卓 郎

- ◇ RI会長名（日本語）………… チャールズC、ケラー
- ターゲット（日本語）………… ロータリアン ー奉仕に結束ー平和に献身
- ◇ 会 員 総 数 76名, 平均 年 齢 56.53才
- ◇ 出席率（年平均） 91.42%
- ◇ ロータリー財団寄付 13,907.42ドル（内ポリオプラス 11,355.16ドル）
- ◇ クラブ年度予算 17,855,651円
 - 会 員 会 費 15,000円
 - ビジター費 1,800円
- ◇ 年間のクラブ運営方針
親睦活動を強化して、四大奉仕の活動を推進したい。

◇ 会長時代の主な出来ごと

この一年を顧りみまして、皆様に大変お世話になりましたことをこの場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

ロータリーでは他人の立場でよく考えて貰えるので、仕事が非常にスムーズに運びます。第2の家族を想わせる集団のように感じられます。外山パストガバナーは「ロータリーは善人の集り」と云われましたが、この一年間ロータリーの強力な友情に支えられ、気持よく過ごさせて戴きました。

今年は各委員長さんの退任挨拶はまとめて三役でやれということでございます。限られた時間ですべてを語ることは、とうてい私の能力外ですが、手帳を頼りに日付を追って一年間の行事をたどってみます。

(6月某日) 幹事の高見さん、会計の井上さん、それに各委員長さんの予算要求などを基に暫定予算の作成にとりかゝりました。

(7月某日) R I から貰った認証状の額縁のガラスが割れ額縁自体も少し壊れているのに気が付き、この認証状を貰うには今度の佐土原クラブの様に伝達式までやっているではないかということになり、高見幹事に話したら、額縁を作る所に心あたりがあるからということで、早速立派な額縁を持ってこられました。

(8月8日～10日) インターアクト年次大会は宮崎西がホストを務めました。大会実行委員長の阿南育男先生、大会副委員長の東丈夫インターアクト委員長の大活躍ぶりは皆様よくご存知と思います。その他ご尽力の皆様に変更御礼申し上げます。

(8月22日) 交換留学生のグレック君が宮崎空港に到着しました。ホストファミリーの大役を務められた志多さんをはじめ、国際奉仕委員会の皆様に感謝申し上げます。

(9月4日) 重城クラブ奉仕委員長と、阿南情報委員長主導の下、長らく見直しのなかった、わがクラブの定款・細則の見直し作業に入りました。同時に社会奉仕基金制度、奨学金制度、ダリア賞制度についても多少の改訂を加え、現状にマッチした立派なものが出来上がりました。

(10月16日) 台風の中、佐土原新クラブが発足しました。その日は金曜日で、例会日であり、例会終了後には理事会、夜は公式訪問を控えてのクラブ協議会を行う予定になっておりました。雨風は激しくなるし、クラブ協議会をやるか、やらないかで迷うほどでした。重城副会長に佐土原クラブのお祝いに出席をお願いしたわけですが、帰りの時間

帯は雨風の一番激しい頃で、一ツ葉有料道路は潮が路面を洗うほどであったとお聞きしております。

(10月24日～25日) 雨の中、「地域に善意の火を」をテーマに地区大会が小林で開かれました。この大会で宮崎西RCは意義ある業績賞を戴きました。

(10月25日～30日) 市内小中学校3名の教職員を韓国へ派遣致しました。近くて遠い国への派遣の意義は大きかったと思います。この事業では国際奉仕委員の宮下廣計さんに大変お世話になりました。宮下さんがおられなければ、恐らくこの韓国派遣事業は実現しなかったでしょう。

(10月30日) 公式訪問、昨年と同じく今年は1日ですべて終わりました。報告書の作製には高見幹事に特にお骨折りいただきました。

(11月29日) 青少年サイクリング大会は、参加者は僅少でしたが、楽しい思い出となりました。

(12月4日) 家族懇親会。前園親睦委員長は大変はりきっておられ、今年はこのほかにも夜の例会が多かった様に思います。ご苦労様でした。

(12月13日) ポリオプラスの街頭募金が行われました。これは街頭だけの募金額では、市内で宮崎西が最高の実績を上げることができました。交換留学生のグレッグ君も街頭募金に参加し、活動の様子を8ミリに収めて、アメリカに帰ったら皆に見せると云っておりました。その他特別に献金された方もおられ、皆様の善意をみじかに感ずることができました。

(1月22日) 新入会員との第一回目の炉辺会合が催され、何年ぶりかにやったという声を聞きましたが、こんな会合がロータリーでは一番大切でしょう。企画されました阿南情報委員長さんに、御礼申し上げます。

(1月24日) 鹿児島農協会館で、情報セミナーが開かれ、佐原エレクト、阿南情報委員長、橋本(善)広報委員長と私が出席致しました。路面凍結の寒い朝、5時前に橋本さんが来られ、慎重な運転で立派な車で連れて行って戴きました。大変よい思い出となりました。

(2月14日) IGFが都城で行われました。つめたい雨の降る中参加者の皆様大変ご苦労様でした。

(2月16日) 宮崎RC35周年記念式典

(2月28日) GSE 6名のフロリダ行きの壮行会

(3月4日) グレッグ君の家族例会出席

(4月8日) 創立記念日、意義ある業績賞受賞祝賀会、ダリア賞の贈呈式、花まつりと大変欲ばった行事でした。意義ある業績賞のことは雑誌「ロータリーの友」でも紹介され、これほどの記事が載ったのはクラブ始めて以来ではなかったでしょうか。折から4月は雑誌月間であり、こちらにも意義ある委員会活動でありました。

(5月13日) GSEの受け入れ。フロリダから6名、GSEの一行がやって来ました。この日例会に出席し、スライドでホームエリアを紹介、また会員の車に分乗して市内の職場研修も行いました。この日田崎委員長は、代診の先生を頼まれて、GSEに全力投入され、また弟さんの田崎さんにはホストファミリーを引き受けて戴いたり、お別れパーティでも大変お骨折り下さいました。感謝申し上げます。

(5月27日) 新入会員との第2回目の炉辺会合が開かれ、このときは二次会も大いにはずんで、大変楽しい炉辺会合となりました。

以上手帳を見ながら主な行事を抜き出した訳ですが、時間の都合もありすべてをご紹介できないのが残念です。プログラム委員会、出席委員会、クラブ会報委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会等あまりふれておりませんが、陰の力となってお尽力下さいましたことに厚く御礼申し上げます。特に高見幹事には終始一貫して陰に陽に、支えて戴きましたことに厚く御礼申し上げます。それから竹内三郎先生には、ヘルス Today というマンスリーを毎月ボックスに入れて戴き有難うございました。これからも皆様健康にご留意されまして、益々のご活躍をお願いする次第です。

最後になりましたが、池田ガバナーは恕の心ということをよく云われます。これは許す、という意味だと思います。この恕の心という言葉をお借りしまして、私の一年間の不行届きをお詫びし、お許しを戴きたいと思います。有難うございました。

1988年～1989年（昭和63年～平成元年）



29代 会 長 佐 原 正 晃
副 会 長 新 恵 誠
幹 事 大 藺 英 治
ガバナー 岡 村 俊 一

- ◇ R I 会長名（日本語）…………… ロイス・アビー
- ターゲット（日本語）…………… ロータリーに活力を、あなたの活力を
- ◇ 会 員 総 数 76名, 平 均 年 齢 56.53才
- ◇ 出 席 率（年平均） 91.62%
- ◇ ロータリー財団寄付 1,590,580円
- ◇ クラブ年度予算 17,930,092円
- 会 員 会 費 81,000円
- ビジター費 1,800円

◇ 年間のクラブ運営方針

西クラブ全体の親睦、友情の回復

◇ 会長時代の主な出来ごと

私の会長時代を振り返って特筆すべき事と云えば30周年記念業事を次年度（阿南会長）に控える以外は対外的にも西クラブがホストとなる業事は幸か不幸か全くなかった事が特徴と云える年度であったと思います。

然しクラブ内では幾つかの問題を抱えており、特にクラブ全体のムードの沈滞化が目立っておりましたと申しますと2年前に西クラブのゴルフ会の年次大会（霧島CC）に於て退会されました後藤達男会員が不幸にも右眼失明につながる事故が発生しゴルフ会の自粛から休会中でもありました。又新入会員と現会員との年令的ギャップとでも申しますか不調和音もありどことなく歯車が咬み合はず全体として沈滞ムードが漂い「親睦の西クラブ」に似つかない西クラブでありました。そこで本来の姿にもどすべく誠に素朴なテーマではありましたが「西クラブの親睦、友情の回復」をメインテーマといたしました。そして先ず第一に実行したのがゴルフ会の復活で全会員の半数の40名の入会者

を得、再スタートし、プレー後の夜の懇親会をも含めて若い会員との振れ合いもより円滑になり例会のムードも徐々にではありましたが明るさを取り戻す事が出来、メンバーの所期の目的を達した様に記憶しております。

第2に社会奉仕基金運営の問題でした。

その1として継続事業である宮崎商業高校に対する奨学金制度の見直し、中止問題、1980年4月より10年間先輩方が傾倒された事業を中止する事は誠に断腸の思いでありました。然し時代の変遷による昨今の高校生の奨学金に対する価値観、就中、使用目的が私共ロータリアンのそれとは大変な隔たりが生じておりまして（大変抽象的の発言ですが）私の代に敢えて見直しに踏み切らせて戴きました。とは云えこの件に関しては今でも心の片隅に痛みの残る思いがいたします。

その2として教職員海外派遣につきましては日高照雄、内村両会長の2代に亘る事業で、これを継続すべきかどうかクラブ内でも賛否両論でした。奨学金制度をも含めて地区大会に於て意義ある業績賞迄戴いた事業である故に大変苦慮いたしましたけれども敢えて方向を転換いたし精薄兎えの援助とさせて戴きました。

西クラブは伝統的に対外的な継続事業に関しては極めて慎重でしたと申しますのも、それぞれの時代の会長の特質を尊守するが故に特に対外的な継続事業は好ましくないと云う風潮があり国外との姉妹クラブ提携等についても賛同を得られないゆえんがそこにあると思います。この傾向は西クラブの見識として継承してゆかねばならぬことでしょう。西クラブの会長として一年間勉強させて頂く期会を与えられました事は今後の私の人間形成に、そして私自身の職業に対しましてもロータリー精神を時に、折にふれ反映してゆかねばと思う此頃です。

1989年～1990年（平成元年～2年）



30代 会 長 阿 南 育 男
副 会 長 浜 砂 猛 敏
幹 事 小 田 原 義 征
ガバナー 岩 下 哲 夫

◇ R I 会長名（日本語）…………… ヒュー M・アーチャー

ターゲット（日本語）…………… ロータリーを楽しもう！

◇ 会 員 総 数 78名, 平均 年 齢 55.59才

◇ 出席率（年平均） 95.18%

◇ ロータリー財団寄付 2,531,090円

◇ クラブ年度予算 20,515,784円

会 員 会 費 16,000円

ビジター費 1,900円

◇ 年間のクラブ運営方針

- 1) 出席率の向上、ロータリーの例会、会合を楽しいものにしよう。
- 2) ロータリー財団、ポリオプラス、米山奨学金への寄付の奨励
- 3) R I 会長賞プログラムへの参加、結果は地区内23位
- 4) 創立30周年記念事業、記念式典、記念誌などの事業
- 5) 社会奉仕基金制度の見直しと充実を目ざす。

◇ 会長時代の主な出来ごと

- (1) 標準ロータリークラブ定款の改正、デュアーテ問題の解決
- (2) 8月4～6日第25回インターアクト年次大会（宮崎中央クラブ・ホスト）に参加
- (3) 10月21～22日第273地区R I 地区大会にコ.ホストクラブとして参加
グレゴリー・クラーク上智大教授 特別講演
ドクトルチエ子氏講演、ストレス時代をのり越える健康法
- (4) 10月24日宮崎市主催社会福祉第39大会に於て
社会福祉推進団体として当宮崎西ロータリークラブが表彰された

- (5) 10月27日宮崎西RC職業奉仕賞グリア賞授賞式
財津達夫氏に贈呈、わが国の伝統工芸の表具師として評価された。
- (6) GSEカナダから当クラブに来訪された。
チームリーダー Mr. チャールズ・ワケット ロータリアン
Mrs. キャロル・アン・バートン・ワケット 学校教師
Ms. キャッシー・マッチ 看護婦
Ms. アデレー・ポインター 経済学者
Ms. フェイ・ホプキンス 図書館司書
Ms. カレン・E・マクドナルド 新聞編集長
- (7) 宮崎北RC20周年記念式典
宮崎科学技術館、厚生年金会館にて開催 当クラブから13名参加
- (8) 大賀義人会員11月3日勲五等端宝章授賞 環境衛生功労者として
- (9) 11月19日串間RC ロータリー加盟認証状伝達式 会長、副会長、幹事参加
- (10) 30周年記念委員会（浜砂委員長）の構成と活動
この委員会を4つの小委員会即ち記念式典祝賀委員会、記念事業委員会、30周年記念誌委員会、総務委員会に振り分け全会員をいずれかの委員会で活動していただく。
- (11) 年末家族会 12月22日
- (12) インターシティーミーティング 2月4日（シーサイドホテル）に多数の会員参加
第1分科会のパネラーに当クラブ前園善彦君がご活躍される
第1分科会のテーマ「出席向上」第2分科会のテーマ「R財団、米山奨学会」
- (13) 竹野会員「私の生涯記」出版記念祝賀会（3月30日マングリン）
- (14) 30周年記念式典、祝賀会 2年4月6日（ホテル、フェニックス）
16時登録受付、17時点鐘、式典終了17時50分 18時祝賀会開催
- (15) 職場訪問として宮崎新港 レストランサンポート 2年5月25日
宮崎の海の玄関 宮崎港 港湾計画について和田信氏の卓話をいただく。
- (16) 5月26～27日 青島太陽閣ホテルで宮崎地区のライラが実施され、担当の当クラブの会員及会員所属の事業所から7名の研修生が参加した。

10年間のクラブ概況の推移

創立年月日 1960（昭和35年）4月8日（日本374番目）

認証年月日 “ ” 5月8日

認証状伝達式 “ ” 11月12日

チャーターメンバー数 25名

クラブ概況の推移について表示しました。

クラブ概況一覧表（21代～30代）

	21代 1980～81	22代 1981～82	23代 1982～83	24代 1983～84	25代 1984～85	26代 1985～86	27代 1986～87	28代 1987～88	29代 1988～89	30代 1989～90
1. 創立後入会者	168	174	178	185	188	199	203	206	214	221
2. 創立後退会者	110	114	122	128	137	144	152	156	163	168
3. 現在会員数	83	85	81	82	76	80	76	75	76	78
正会員	54	53	50	52	47	48	40	38	39	38
アディショナル正会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シニア・アクティブ会員	28	32	31	30	29	32	36	37	37	40
パスト・サービス会員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 会員の平均年齢	52.9	54.59	55.11	55.61	56.26	55.15	55.99	55.75	56.53	55.59
最高	81	82	83	84	85	86	87	88	89	85
最低	32	33	34	35	36	28	30	31	31	32
20才台	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
30才台	5	3	3	3	2	1	2	2	4	3
40才台	28	30	26	22	17	20	21	20	19	22
50才台	28	30	30	36	37	38	31	23	23	25
60才台	11	10	11	11	11	10	13	20	20	19
70才台	9	10	8	6	4	6	6	7	7	6
80才台	2	2	3	4	5	4	3	3	3	3
5. 地区大会出席率	33.3%	100%	23.46%	17.5%	24.7%	27.3%	100%	23.7%	33.3%	23.4%
6. 本年度予算総額	13,582,110	14,491,242	13,554,556	13,649,858	13,872,457	15,318,506	16,465,952	17,855,651	17,930,092	20,515,784
7. 入会金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
8. 会員会費	12,000	12,000	12,000	12,500	13,500	13,500	14,000	15,000	15,000	16,000
9. 会食費	1,500	1,500	1,600	1,600	1,700	1,700	1,800	1,800	1,800	1,957
10. ビジター会員	1,600	1,600	1,600	1,600	1,700	1,700	1,800	1,800	1,800	1,900
11. 例会平均出席率	96.22	94.97	93.24	93.43	93.23	93.96	93.54	91.42	91.62	95.18

米山功労者一覧表

竹野 融 S60. 7. 25

阿南育男 S62. 8. 18

ロータリー財団寄付者一覧表

ポール・ハリス・フェロー

竹内三郎 S47. 6. 30

竹野 融 S50. 7. 25

橋本一郎 S54. 10. 26

日高文雄 S56. 9. 18

江田祐典 S61. 12. 12

高見忠典 S63. 6. 20

尾藤博澄 S63. 6. 24

市来 斉 H1. 6. 5

重松ウメ H1. 7. 11

濱砂猛敏 H2. 4. 24

大江幸政 H2. 4. 26

喜島健一郎 H2. 4. 26

柴田博文 H2. 4. 26

田崎博俊 H2. 4. 26

日高常一 H2. 4. 26

大藺英治 H2. 6. 22

阿南育男 S49. 6. 26

植松熊太郎 S54. 2. 9

郡 嗣彦 S54. 12. 4

吉賀幸夫 S60. 6. 18

内村龍祐 S63. 6. 20

前園善彦 S63. 6. 20

岩井隆一 S63. 11. 15

菊池皓一郎 H1. 6. 5

阿南育男 H2. 1. 26

田崎高伸 H2. 4. 24

小田原義征 H2. 4. 26

坂本健太郎 H2. 4. 26

志多克彦 H2. 4. 26

林 務 H2. 4. 26

井手脇万詔 H2. 4. 27

メモリアル・コントリビューター

田崎松代 S49. 10. 15

ポール・ハリス・準フェロー

堺 久 S46. 8. 27

日高照雄 H2. 2. 23

小川次男 S61. 6. 16

新恵 誠 H2. 2. 23

ロータリーと私

パストガバナー 竹野 融

昭和三十五年四月八日宮崎西ロータリークラブが創立され私もそのメンバーの一人として入会した。丁度、私の新しい医院が旧二葉町に建築中でありテリトリーとしても西クラブの区域内であった。入会は大学が二年先輩の同窓、田崎亀夫氏のキーメンバーとしての勧誘に依ったものである。今にして思えばこのロータリー会員となったことはその後の私の人生に実に大きな意義をもたらした。何と云っても業種の異なる多くの知己を得たことが素晴らしい。そして多くの知識を与えられた。所謂、ロータリーの奉仕の理想の下に集い合う例会であるから自然と自分の人間性高揚に役立った。その高められた境地から自分の職業をより崇高なものへと転化せしむことが出来た。正にロータリーの功德である。その様な豊かな温かいムードの中で三十年の年月を送って来たのである。一言で云えば有難い三十年であったが、初期には色々な問題や試行錯誤があった。それ等を懐かしい思い出として綴ってみよう。

○初めてのメーキアップ

昭和三十五年六月一日新築の医院が落成し開業生活に戻った途端に旧宮相銀行から北海道旅行団体の添乗医を引受けて呉れとの依頼だ。期間は六月中旬から七月初旬まで十八日間だと云う。新米ロータリアンにとっては大問題である。旅行日程とロータリーの友誌の全国RC例会日の案内版と首引きで照合し、札幌で中間の、帰宮後、跡取りのメーキアップで補填できそうである。計画通り事は運び、札幌では公園通りにあるタワービルの札幌西RCで温かい歓迎にロータリーの友情をしみじみと感じたことだった。以来二十数年間、無欠席を続けたが加齢と共にあちこちと身体の不調を来たし生涯の皆出席はならなかった。クラブとしては未だ九州一円が三七十地区だった頃、地区出席率が上位十位内に入り表彰を受けた輝かしい記録がある。

○地区の変遷

昭和三十五年わが西クラブが創立された頃は九州一円が三七十地区であった。したがって地区大会は殆ど持廻り式に開催されており、宮崎大会では岩切章太郎氏発案になるジャイアントフラワーがそぼ降る時雨の中、神宮西苑に華麗さと実用性を発揮した見事な演出であったことを覚えている。昭和四十三年から南部九州（熊本、大分、宮崎、鹿児島）が分割し三七三地区となりお別れ年次大会が佐世保で行われた。昭和五十二年、西田武雄ガバナー時代に地区ナンバーが三七三から二七三と変更になった。そして昭和六十年から熊本・大分の二県と鹿児島・宮崎の二県が分割され前者を二七二地区、後者を新二七三地区とした。外山三郎ガバナーの時であった。

昭和四十九年、私がガバナーになった頃は日本全土で二十一地区であったのが現在では三十一地区に増大し、更に増えつつある。

○国際大会出席

昭和三十六年五月の東京晴海に於ける国際大会には西クラブからも数名の会員が参加したが、世界各国からの参加者は二万を超える空前の盛況であった。西クラブから海外の国際大会に参加したのはハワイ大会が初めてであろう。昭和四十四年五月のホノルル大会に出席すべく予め旅費の積立てをしていた田崎亀夫、大古殿利丸、竹野融（以上各夫婦）、佐原伝次郎（父娘）の四組は憧れの常夏の島で、瞳を見張る様な壮大なドーム式のコンベンションホールの華麗さの中、白、黄、黒色の人類ショーを思わせる会場の温かいムードにロータリーの快さを満喫したものだ。観光にそれぞれ多くの忘れ得ぬ思い出を持ったのは勿論である。

私は其後昭和四十九年ガバナーノミニエとしてレークプラシワドで国際協議会を、ミネアポリスの国際大会に於てガバナーエレクトとなった。昭和五十一年にはミシシッピー河口のニューオリンズ大会に、五十五年は、ロータリー発祥の地、シカゴ大会に、五十八年にはイタリーのローマ大会に、六十年にはカナダのトロント大会に、更に第二回目の東京大会に出席しているから計七回の国際大会に出席したことになる。

○青少年奉仕と交換学生

わがクラブの創立五年史を繙いてみれば以外と青少年を対象とした奉仕活動が多い。天神山にピロー樹を植えて青少年の憩いの場を造ったり、旧宮崎銀行屋上に青少年を非行から守るための愛の鐘を設置したり（宮崎RCと共催）、或はひまわり学園に動かない車を寄贈したりしている。そして創立五年記念事業の一つとしてインターアクトクラブの創立を手がけている。親クラブの適切な指導によったものであろうが、それにしても見事な活躍振りであった。

そして昭和四十二年親クラブに魁けて西クラブ単独で交換学生として米国高校生を預ることになったのである。生徒は北米NY州の略中央のオールバニーから車で1時間程のボールストンSPAと云う人口五千程の町から来たカール・A・バックヘイバーと云う高校生であった。彼の父はGM社のタービン関連の技師であった。受入れ高校は日向学院にお願いしホストファミリーとして郡嗣彦、竹野融、山口建築設計士、橋本一郎、清水一穂の順に2～3ヶ月宛世話をした。カールの日本語は余り上手でなかったが稀にみる素直な子でよく日本人家庭に馴染んでいた。カールが期間を終えて帰国する時には弟も来日し、カールが米空軍将校になった時にはカールの父と共に来宮している。私も渡米時に二回カールの家に宿泊しその後家庭的な交際も続けている。

私はロータリアンとなったが故にこそ広い世界を知り異国人との交わりも経験することが出来た。八十才を超えた今は只その思い出だけに縋っている。若いロータリアンの方々には昔のクラブの歴史を繙き、それに劣らない積極的な活動に挑戦して頂き度い。

ビバ・ロータリー

— 世界は面白い —

江田 祐典

仕事の関係で海外に出掛ける機会が多い。長い時は3ヶ月ぐらい日本を離れることがある。そんな時はどうやりくりしても現地でメーキャップしなければならなくなる。時にはわざわざ飛行機で3時間もかけて、メーキャップしたこともあった。あれは8年ぐらい前だったと思う。友人の香辛料の買付けに同行してブラジルに行った。サンパウロを後にアマゾンを見ながらマナウスに降り、そこから車で約5時間ほど走った所である。当初のスケジュールだと3日でサンパウロにもどれる筈だったのだが、次から次へと変更が重なり5日を過ぎてしまった。その週にメーキャップの限界期間がきてしまうので、どうしてもサンパウロにもどりたかった。ところがここはブラジル、日本のように物事が簡単に進まない。やっとのことで飛行機に乗り込み、約2,300kmの大地を眼下にメーキャップのことばかり考えながら飛んで、やっとなサンパウロ・ブルックリンで義務を果たした。その頃は出席率に対する関心がすこぶる深く、常に頭にこびりついていたものである。というのも父が生前40度近くの高熱をおして例会に行くのを見ていたからだろう。

せっかくだからブラジルのクラブ数に就いてお知らせしよう。

クラブ数は1674、その中に一部ペルー、ボリビア、パラグアイ地区が入っているが、444地区から478地区までである。中でも461地区のサンパウロS・Pは94のクラブを有し、ブラジル最大の地区である。さすが日本の23倍のブラジルだなあ、と感心していたら日本は人口はほぼ同じぐらいだけど、クラブ数は1920（平成2年6月現在）であるから驚く。例会の内容はほぼ同じであるが、後で話すメキシコ等と同様明るく楽しい雰囲気である。義務出席といった感じはどこにも見あたらない。お国柄と云ってしまえばそれまでだが、何かが違うのである。それでは出席に苦労して来たから、さぞかし100%の出席だろうと思われるかもしれないが、残念ながら最近ではホーム・クラブの出席率低下に一役買っている。海外に出掛ける時は一人で行く場合が多いため、全ての手配を自分でやらなければならない。特にヨーロッパ等は神経を使う。時間との戦いである。出席の筈が欠席に変わったのは忘れもしないアメリカの飛行機の中であった。場所はデンバー（コロラド州）。その年は例年になく全土豪雪で、飛行機はもう既に5時間立往生している。表示板は離陸未定

となったままである。翌朝シカゴで人と待合わせをしている。又シカゴでメーカーの予定を組んでいる。なんとかシカゴに出なければと焦ったあげく、車で800kmを走りオハマ（ネブラスカ州）で飛行機をつかまえることにした。ところが7時間で行けると踏んだ道は、途中の雪の為のアクシデントや流れのスピード・ダウンの為に、なんと翌日の昼過ぎになってしまった。この瞬間無情にもメーカー・リミットをオーバーして欠席1の汚名を残したのであった。それ以来どうも「箍^{ツガ}」が緩んでしまったらしい。ただ出席を常に心掛け一生懸命世界を駆け巡ったという自尊心は残っている。しかしメーカーという奴は結果主義の評価だから、原則として途中がいくら努力を伴った美しい行為でも結果、即ち、メーカーが出来なければ全てが評価の外に置かれてしまう。自分勝手な解釈をしてみると、「出席は”奉仕の理想”を達成する為の一手法」であるから、海外でのメーカーは国内の数回分に匹敵評価されてもいいのではないかと、となるが、なにしろ全会員の中で虫メガネでみなくてはならないほどの少ない実例なので仕方がないかと諦めている。欠席という前科を持ってから海外でのメーカーの気持ちが変わった。一寸と立寄ってみるといったゆとりを感じる。今迄と違ったコミュニケーションがそこにある。アカプルコでメーカーした。テーブルの一人が「自分は日本通である」と話し掛けて来た。東京はゴチャゴチャしているが、メキシコは美しいだろう、お前は何処が美しいと思うか」と。私は即座に“歌”と答えた。何故そう答えたかと云えば、アカプルコからメキシコ・シティの往復飛行機チケットが手に入らなかった為レンタカーでやって来ていた。途中休憩した店の前で若者がギター片手に歌っていた雰囲気を美しいと思ったからである。小さな声で「シェリト・リンド」をハモった。するとテーブル中がハミングを始め、アッという間に例会は歌の会場となった。やはりラテン系民族は明るくフレキシブルだ。一時中断した例会も正常にもどり終了した。立ちあがろうとすると「今夜暇かと聞く」別に予定はないと云うと「ホテルに迎えに行くから」と余韻を残して別れた。その晩のパーティが一生の思い出になったことは云うまでもない。日本であればS・Aが眉間に皺を寄せて「静かに」と制するに違いない。日本では一種の儀式なのかもしれない。国民性の違いも目的意識が同一なら許されるのだろう。1988年、カサブランカで用があり、メーカーを楽しむことにした。日本で調べて置いた例会場「ホテル・カサブランカ」に行ってみると、ロータリーはやっていないと云う。半年前に移ったと。フロントで聞いたが何処に移ったか誰も知らない。タイムリーな情報も日本以外では存在しない国は多々ある。自分の身近

な情報以外は興味がないようで、日本が異常なのかもしれない。やっと会場を見付け西ロータリーのバナーを交換することが出来た。CASABLANCA-ANFA。MOROCO.HOTEL.HYATT.REGENCY.であった。バナーは珍しくラクダの皮で作られていた。大切にホーム・クラブに持って帰ったが、今は見あたらない。海外の認識は今一つと云ったところか？ 南アフリカで数ヶ月過ごしたので、メーキャップの回数も多くなる。ヨハネスブルグ930地区はよく出掛け友人も出来た。今だに文通は欠かさない。1921年創設の「カールトン」ゴルフ場での例会等、午前中プレーをして例会、海外先進国の例会は事前にアルコールが入る所が多い為、気持ちがオープンになれる。例会の為の例会で形から入る日本式とは違う。これからグローバル化が唱えられる昨今、肩胛をはらない例会が増えるのが楽しみだ。紙面が少なくなった。

まあ世界は広く一つ一つの例会は個性でいっぱいだ。世界中に友人をつくるには、同じ意識で集まったロータリアンは格好のネットだ。今迄は仕事のあい間にロータリーであったが、シニア・アクティブの心がまえは、ロータリーのあい間に仕事を、と云いたい。これからも出掛ける前にホーム・クラブのバナーを忘れないようにチェックをしようと思っている。自分の体調も勿論だが。



第25回インターアクト年次大会開催

1989年8月4日～6日

宮崎厚生年金会館

目 的

地域社会への奉仕と国際理解のため世界的親交を深めつつ、共に行動する機会を青年たちに与えることにある。

目 標

- ① 建設的な指導力を養生し、自己の完成を計ること。
- ② 他人に対する思いやりを深め、かつ力となり得るよう奨励し、実践に努めること。
- ③ 家庭の重要性を改めて認識し国を愛する心を養うこと。
- ④ 個人の価値を認め他人の権利を尊重すること。
- ⑤ 個人の成功、地域社会の改善及び団体としての業績を挙げる上に個人が責任を負うことを強調すること。
- ⑥ すべての有用な職業は社会に奉仕する道であることを理解しその品位と価値を認識すること。
- ⑦ 地域社会、国家及び世界の問題について認識と理解を深める道を提供すること。
- ⑧ 個人として、団体として、国際理解と全人類に対する善意を増進するための道を切り開くこと。

大会実行委員長挨拶



宮崎西RC

阿南育男

皆さん今日は。数日來の台風11号から13号までが近づき、本日のRC第273地区第25回インタラクティブ年次大会の開催が天候の点から不安がありましたが、皆さんの常日頃の活動からよい天気となって来ました。遠方からご来場頂きまして、ありがとうございました。

昨年度は、鹿屋西RCの御協力で第24回インタラクティブ年次大会が国立大隅少年自然の家で盛大に開催され、楽しい大会に出席させていただきありがとうございました。本日は例年と変わり、市内の一流施設を会場としてユニークな大会になるよう目指しました。本日の特別講演の講師には、元宮崎県教育長四本茂先生のお話を予定しております。明日は、科学技術館、プラネタリウムの見学とかを予定しております。また、宿舎は大淀川河畔の由緒あるホテルを準備し、夜には、西日本最大といわれる花火大会見物を予定してあります。インタラクティブ年次大会でありますので Rotary との関わりについて多少お話し申し上げたいと存じます。

ロータリークラブは今から約85年前、米国では経済恐慌のもとで、すさんだ世の中、街を何とかよくするものはないかと考えていたシカゴの青年弁護士ポールハリスが、石炭商、鋳山技師、洋服商な仲間が集まり話し合ったのが始まりで、ブスタークラブと称していました。その後2名の仲間が加わりロータリークラブと称しましたが、会員の家庭を順番に回り、おたがいの助け合いと親睦をを目的としておりました。その翌年のことですが、ある雨の寒い朝、例会場に行く途中の会員の目に新聞売りの少年が映りました。雨の中でふるえている少年に対して新聞を買ってあげようと思いました。新聞代のお釣が在りません。それで、少年を例会場まで案内し、少年の持っていた新聞を会員が全部買い取り、濡れてしまった肌着を乾かし、会員の上着を与えたそうであります。少年は喜んで帰りましたが、丁度ロータリークラブでは、社会奉仕を何かしたいと考えておりましたので、早速青少年奉仕をとり上げたのであります。当時は、経済不況の中、当然就学すべき年齢の青少年が学校へも行けず、低い労働条件で低賃金で働かされていたのであります。Rotary では、

1910年シカゴクラブでは青少年奉仕の概念が高まりまして、1912年ボーイスカウト、ガールスカウトの設立に携わり、またユースホステル設立、身体障害者少年に対する補助、犯罪少年の更正、スポーツ少年団の育成に参加しました。ロータリー青少年活動の進む中でインターアクトクラブは、1962年インドの元国際RC会長はじめ数人のRC会長の提言で結成を呼び掛けられましたが、米国フロリダ州メルボルンのロータリークラブで発足しました。大学入試前の4年間の14~18才の年齢層を対称として地域の青少年の集まりがインターアクトクラブを創っております。我国では学校単位の高校生が対象となっております、現在273地区では鹿児島県12クラブ、宮崎県11クラブとなっております。又、1968年には、大学生または17~28才の職業を持った青年をローターアクトクラブのメンバーとする活動組織がつくられております。インターアクトクラブやローターアクトクラブもロータリーの下部組織ではありませんが、その健全な発展に対しての助言、相談にのることをしております。

インターアクトクラブのシンボルマークの四の環に示されているように、友人に、家族に対して地域社会に又広く世界に向かって友情と思いやりの心で活動をしていことするインターナショナルなアクションをする活動少年たちのことであり、その手段として、8つの目標が示されております。私たちの国を安心して次の世代に譲り渡してもいいような人間に、即ち青少年を立派な次世代の指導者に育て上げる手伝いをしているのが我々ロータリークラブであります、この大会を充分楽しみながら、本日のモットー、「友よ、清く、仲良く、たくましく、そして Enjoy I A C」の通り思い出のあるものとしていただきたいと存じます。



グループ別討論会結果報告

第1班

延岡高校 甲 斐 雪 代



円谷選手とモーリスさんの二人の生き方は対照的でどちらがいいか私にはわかりませんが、円谷選手にはそれなりの考えがあり、もうやり残したことはない”と考えたので自殺したのだろうという意見や、生きたくても生きられない

人もいるのだから、自分の存在をもっと大事にしてほしいという意見もありました。

又モーリスさんがアンナプルナの登頂に成功した後、凍傷にかかった手足の指を切断、治療するため入院したが、そこで言った。「人生には別のアンナプルナがある」という言葉に対し、グループのみんな同意しました。何か困難にぶつかった時、そこですぐ挫折するか、あるいは、それに負けずに立ち向かうかということです。私たちは一人一人が個性を持ってつづのだから、考え方も一人一人が違った意見を持つのは当たり前だと思う。しかし、死を選ぶことを考えるとしたらちょっと考えなければならないと思います。生きても無駄だから、何も望みもないから死を選ぶとなると考えものだと思います。そこに別の生きる望みが出来ればきっと生きようと思うと思うのです。

私たちは常に自分の目標に向かって進まなくちゃいけないと思います。別に死にたいという気をおこさせないためとかそういうことじゃなくて、自分の目指すものがあればそれだけ、生きる望みとか生きるはりあいが出てくると思うからです。もしくじけそうになった時には、友達がいると思うのです。時にはきびしく又、時には優しく励ましてくれる友がいると思うのです。お互いはげまし合い、自分の目標に向かって少しずつでも近づけるようがんばっていきたいと思います。



第2班

宮崎商業高校 河 野 由 紀 子

私たち第2グループは、協議会用に決められたテーマと、インターアクトの部活動内容の発表、年次大会についての意見などを話し合いま

した。

まずは、協議会のテーマについての感想を、各学校一名に言ってもらいました。円谷選手は、精神的な傷を負い、自ら死を選び、モーリスは身体的な傷を負いながらも、別の生き方を見つけ出した。2人の違いはここに 있습니다。円谷選手については、命を粗末にするのはいけないと思う人、遺書に恨みつらみを書かなかった分、精神的負担が大きかったのだろうと思う人、なかには、自殺しようが本人の自由だと、自分の率直な感想を述べてくれる人もいました。モーリスについては、一貫して、別の生き方を見つけ出したことに対する感嘆でした。目標を達成した後、2人は正反対の道を選びましたが、どちらが良い悪いではなく、自分の思ったことを自分なりにまとめて発表してくれたこと、誰かがこう言ったから自分も……ではなく、自分の意見を発表できたことで、協議会をした意義があったのではないかと思います。

次に、各学校の部活動内容を報告してもらいました。なかでも鹿児島高校のクリーン作戦は、地域の人々と生徒が一体となつての奉仕活動として成功した例であり、見習いたいと思った学校もあったと思います。老人ホーム訪問、身障者との交流、街頭募金など、私たちにできる活動は身近にたくさんあるものです。これからも、宮崎と鹿児島で情報交換しながら、インターアクトらしい活動がしていけたらよいと思います。

年次大会については、前回の年次大会にも参加した人が5人ほどしかいなかったのも、私事になってしまうかもしれませんが、気がついたことを言わせていただきます。宿泊所が宮崎側と鹿児島側に分かれてしまったことで、交流が上手にできなかったような気がします。中には、決められたことを守らない人がいて、不愉快になったことも事実です。私は今年3年生ですので、最後の年次大会でしたが、最後にしては物足りなかったような気がしました。

いろいろなことを述べてきましたが、最後に一言述べて終わりにしようと思います。年次大会は、年に一度しかないインターアクト仲間の交流の場です。楽しい気持ちで過ごせるよう、大会が終わって「ああ、友達もできたし、良い時間をすごせたなあ」と思えるような、思い出に残る大会にして下さい。

国際ロータリー会長・ノート

A Note From The President of

Rotary International

RI会長 ジェームス F・コンウェイ

<その違いとは>

諸君はロータリアンだろうか。それとも「単にロータリークラブのメンバー」というだけのことであろうか。1953～54年に257地区（現在の723、725地区）のガバナーを務めたとき、私は地区内のクラブに対し、あえてこう問いかけたことがある。

ロータリアンであることと、ただロータリークラブのメンバーであることと、どんな違いがあるというのか。諸君はこうたずねるかも知れない。

だが両者には、優勝者と落選者ほどの違いがあるのだ。大体人間には3種類あると思う。その1は率先活動を始める人であり、その2は事の起こるのを傍観している人であり、その3は、何が起きているのか知らない人々である。会費を払い、例会に出席しても、他に何もしなければ、その人は事の起こるのを傍観している。つまり第2の種類の人間でもありロータリークラブのメンバーでもあるにすぎない。

一方、ロータリアンとは、自から率先して活動を起す人間である。この種の人は、自から頭脳をしぼり、時間を捧げて活動する。たとえば会員以外の人々に、ロータリーを教え伝え、新会員を入会させる。新たな活動計画をクラブに提案する。クラブの委員もしくは役員として活動する。例会に欠席した場合には、クラブに迷惑をかけぬよう、メイクアップする。こういう人をロータリアンという。

ロータリアンとはまた、自分の事業もしくは専門職業において、職業関係の団体に所属するだけでなく、自分の職業の水準と理想を高めようと努力する人である。

ロータリアンとは、自分の国家にとってよき市民たろうと努力し、同時にまた他のすべての国々の国民についての認識を深めようと努力する人を指す。

ロータリアンとは、ある特定の計画に支持を求められた場合、時としては金銭の寄付だけで済ますことはあっても、大抵の場合、活動を起す立場にまわって努力する人を指すのである。

（1970年「友」4月号より）

モスクワにロータリークラブ結成

Rotary milestone A club in Moscow

アーチャー会長が4~5ページで予告するように、本号の締め切り後にモスクワRC結成の大ニュースが入りました。やりくりして掲載します。

ロータリアン誌編集部

(1990年
ロータリアン誌5月号より)

ヒュー・アーチャーRI会長は、3月下旬再びモスクワを訪問、ソ連にロータリークラブ(RC)結成の件について折衝中でしたが、3月24日にRIとソ連政府がモスクワに仮クラブを結成する件について合意したと発表しました。

モスクワのほか、キエフ、レニングラード、イルクーツク(シベリア)などにもRC結成の要望がソ連側より出ています。エストニア、ラトビアの両共和国からも同じ要望があります。アーチャー会長は、これらの要望はまもなく実現されるだろうと期待しています。(上記の両共和国には第2次大戦前にRCがありました)

ソ連外務次官と折衝を重ねる

RC結成をめぐる交渉はアーチャー会長とソ連外務次官ウラジミール・ペトロフスキー氏との間で進められました。そして同外務次官は「新たに結成されるRCは、自由で開放的な集会を開くことができる。いかなる政府機関も干渉することはない」と会長に保証し、RI定款に規定のとおり、他の国と全く同じ集会・活動の自由、人頭分担金の支払い、ロータリー財団への寄付、各種プログラムへの参加を認めたとのことでした。

前回と同じく、今回のモスクワ訪問にもロルフ・クラリッヒ元RI会長が同伴しました。モスクワRCのスポンサークラブは、同元RI会長のホームクラブであるフィンランドのヘルシンキ・ヘルシンフォーRCが務めることとなります。

モスクワ仮RCの会員数は25人で、過去6ヶ月間非公式に例会を開いてきました。会員の年齢層は30~50歳で、職業は弁護士、翻訳専門家、劇場のマネージャー、そのほかソ連

で認められつつある自由企業の経営者（その1人は米国アーカンソー州で合弁事業に参加）などです。創立会長の選挙は近々行われます。

現在のところ主な会長候補としては、弁護士で、世界的権威のあるソ連科学アカデミーのメンバーでもあるアレキサンダー・ターナバスキー氏と劇場支配人のウラジミール・リトノフ氏の2人があげられています。

‘命令はないのか’

なおモスクワRCの創立会員となる人々の集まりで、会長はいろいろな質問を受けたとのこと。その際「RIは私たちにどんなことをやれと要求してくるのか」とたずねられ、それに対し会長が「そういう考え方は逆にして下さい。どんなことをやるかは皆さん自身で企画して立案するものです。RIはその手助けをします」と答えたところ「命令はないのか」とびっくりしたそうです。

さし当たってモスクワRCのメンバーはとくに青少年交換、友情交換、ロータリー財団奨学金、研究グループ交換などのプログラムに深い関心を示し「ソ連にRCができると、諸外国からも財団奨学生が留学にやってくる」と会長が話すと、彼らの関心は一層高まったとのことでした。

ソ連にはこれまでロータリーはなく、したがってモスクワRCがソ連最初のロータリークラブとなります。またRIはソ連に奉仕クラブをもつ世界最初の民間国際団体となります。同RCの結成で、全世界のロータリー加盟国と地域の数は168となりました。

G.S.Eのホストファミリーを受けて

田崎博俊
前田暢俊
田崎高伸

1988. 4. 21… 5. 19に698地区 (Florida, U.S.A.) から6名の G.S.E. 男性チームを受け入れ西クラブでは5. 9… 5. 11の3日間トムさんとクリスさんのホストファミリーを、田崎博俊会員と前田暢俊会員が引き受けました。

銀行員のクリスさん (左) と体育の先生トムさん



1989. 10. 7… 11. 11に782地区 (Canada) から団長と5名の G.S.E. 女性チームを受け入れ西クラブでは10. 29… 11. 2の5日間キャシィ・マツチさんのホストファミリーを、田崎博俊会員と田崎高伸会員が引き受けました。

陽気に踊る美人看護婦のキャシィさん





ダリア賞制度とその運用について

宮崎西ロータリークラブ 日高 文雄



このダリア賞は当クラブ創立10周年を記念して1969年7月に制定され、以来今日まで18年間職業奉仕の一助として活動しているもので、これまで37人に至る職業奉仕を具現した善行者を広く顕彰したものであります。

1. ダリア賞制度の理念

職業奉仕はロータリーの綱領第2に示すとおり、実業および専門職業の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること；ロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること……とあります。

自分の職業に誇りと愛情と責任をもつことであり、単なる金儲けばかりを目的とするのではなく、四つの目標に努力し相手の立場に立って、思いやりの心、いわゆる奉仕の心を切磋琢磨して、より高い境地を得てその心が、職場、家庭、地域社会全般に影響することを願っているのです。

その理念のもとに、私ども宮崎西ロータリークラブでは、職業奉仕を具現した人を選考して表彰する「ダリア賞」を制定しました。

2. 「ダリア賞」命名の由縁

ダリアはわが国への渡来は1842年、天保13年オランダ船がつんで来たことと記されてあります。夏から秋にかけて見事な花を咲かせるダリアは可憐なものから、大輪に至っては華麗そのもので誰からも愛され、親しまれ、親切を喜ぶ感謝の花とうたわれています。

このことから、「ダリア賞」と命名しました。

3. 「ダリア賞」贈呈規程

第1条 ダリア賞はロータリー職業奉仕の理想を具現した個人又は法人に贈呈するものとする。

第2条 受賞者には表彰状並びに賞品を贈呈する。

第3条 ダリア賞該当者（候補）を推薦した者に簿謝を呈する。（但しロータリアンを除く）

第4条 受賞者は原則として年1名とし都合によって変更することもできる。

第5条 受賞者は次条に定める選考委員会に於いて宮崎市内及びその周辺より選考する

第6条 選考委員会は会長、副会長、職業奉仕委員から構成する。

第7条 表彰は毎年職業奉仕月間を原則とする。但し都合によって変更することも出来る。

付 則

本規程は昭和62年9月18日より改正実施する。

ダリア賞受賞者一覧

年	回	受賞者名	年齢	奉 仕
1969	1	甲 斐 易	19	献血で人命救助
	2	大久保 宏 二		多年にわたって子供会の育成に尽力
	3	藤 岡 芳 穂	61	永年業務のかたわら献身的に交通指導にあたる
		鳥 丸 満 雄	49	〃
		川 口 敏 明	55	〃
	4	飯 塚 春 子	60	江南病院開設から定年迄雑役婦としてつとめあげる
	5	藤 田 盛 治	60	詩吟を地域社会に普及し特に受刑者、身障者へ奉仕
	6	島 中 保	42	昭和22年以来ボーイスカウトの育成に奉仕
	7	坂 元 孝 紀	30	献血運動に積極的協力、20回以上
		久 家 静 子	59	〃
		荒 川 省 次	24	〃
		宮 本 善 則	55	〃
	8	川 添 栄 光		青年団活動に積極的に参加、市青年団協議会をつくりその隆盛を見るに至る
	9	斉 藤 友 則	48	32年間無事故で国鉄勤務、機関士養成に尽力
	10	日 高 鉄 夫	54	厳しい風雪を冒し40年間郵便集配職を果す
1970	11	大 宮 中 生 徒 会		自発的に平和台の清掃を6年間にわたり続行
1971	12	松 本 貞 六		30年にわたり安全運転無事故で後輩指導
	13	黒 木 征 士 露		身障者を指導して特産の銘木ユス箸を製造、明るい目標を与えた
1973	14	宮 崎 サ ト		按摩業を長期間営み身障者の灯となり指導した
	15	恒 吉 増 夫		県公園協会職員として長年緑化運動に一身を捧げた
	16	有 馬 静 夫	67	市清掃課に長年勤務、その状態は同課の範である
1974	17	小 田 国 雄	58	新聞発行の縁の下に長年働く
	18	甲 斐 フ サ 子	29	看護婦さんの職業倫理訓であるナイチンゲール誓詞の実践者として
1975	19	林 国 夫	40	自然と人情の美をキャッチフレーズとする観光宮崎のタクシー運転手
	20	中 武 良 久	52	身障者として肢体不自由者に社会復帰の希望を与えている障害センターの先生
1976	21	大宮司 国 男	66	ナベ、カマ、傘の修理をしながら小中校に楽器を贈る救世主
1977	22	有 村 政 則	41	「観光は心を奉仕することから」をモットーにハンドルをにぎるタクシーの運転手
1978	23	宮 本 美 雄	59	盲学校教師として誇りと愛情をもち27年、遂に自力でエデンの園を作られた
1979	24	渡 辺 中	58	市の清掃事業一途に30年
1980	25	野 門 幸 一	60	学校用務員として環境整備にうちこみ児童に慕われる
1981	26	外 山 良 治	32	身障者のハンディーにもかかわらず自立印刷を開業。さらに写植技術者を養成する
1982	27	岡 本 克		宮崎市塗装業協会。会員が無償で児童公園のベンチなどの塗りかえを行う
1983	28	渡 辺 辰 男	69	郷土服裁断士として55年。天職として打込んでおられる
1984	29	佐 藤 松 尾	73	和紙人形作り20年、郷土民芸品、伝統民芸品に大きく功績を残す
1985	30	安 井 早 智 子		杞柳生産製品組合。製品の作製に励まれ工芸品として高い評価をうける
1986	31	藤 野 忠 利	49	市内各所で絵画教室を開き、絵画を通して児童の全人格的教育を行う
1987	32	久 米 亀 二 郎	88	邦楽器製作70年、その発展に尽力された
1988	33	森 山 修	54	10年前画廊開業。一周年を記念してチャリティー色紙展を企画し、以来その益金を寄付されている
1989	34	豊 浦 謙 治	59	日本の食文化の研究、東南アジアの食文化の研究に研鑽された。
1990	35	財 津 達 夫	70	表具師として55年。「現代の名工」に選ばれた。卓越した技術者として、また後続者育成への献身が高く評価される。

社会奉仕基金運営委員会規程

(総 則)

- 第1条** 当クラブが昭和46年10月1日に創設した社会奉仕基金（以下基金という）の運用に
関しては、この規程の定めるところによる。
- 第2条** 基金は会員の寄付金によって積立てる。但しこの基金の趣旨に賛同して寄付せられた会
員以外からの資金もこれに充当することができる。
- 第3条** 基金は原則として有価証券、定期性預金に投資してその運用益の増加を図らねばならな
い。
- 第4条** 基金の使用は原則として、その運用益の範囲において国際ロータリーが提唱する社会奉
仕のために行うものとする。

(運営委員会)

- 第5条** 基金の運用を行うため、会長はクラブ細則第8条3節（b）により社会奉仕基金運営委
員会（以下委員会という）を任命する。
- 第6条** 委員会は当クラブの各年毎に、会長が指名する会計及びその他の会員若干名をもって組
織する。
- 第7条** 基金の出納、保管、管理は会計である委員がこれに当たる。
- 第8条** 委員会は委員長が必要に応じて招集する。委員会は付議する事項を次の通りとし議決は
その過半数で行う。
1. 第3条の基金運用に関する事項
 2. 第4条の基金は
 - イ. 社会福祉関係事業に対する援助
 - ロ. 文化活動事業に対する勸奨
 - ハ. 奨学関係援助
 - ニ. その他社会奉仕関連事業に対する援助
3. この規程の改正に関する事項
 4. その他基金運用上必要と認めた事項

(会 計)

- 第9条** この基金の会計年度は当クラブの会計年度と同じとする。
- 第10条** 基金の収支決算状況は、理事会の承認を受けて会計年度終了後1ヶ月以内に会員に報告
しなければならない。

(付 則)

1. 本規程は昭和53年4月1日より実施する。
2. 本規程を改正したいときは遅滞なくその内容を理事会の承認を受けて会員に報告しなけれ
ばならない。
3. 本規程は平成2年4月1日より改正実施する。

宮商の生徒に対しての奨学金規定は、平成2年4月1日をもって廃止とする。

古紙回収事業について

平成元年度 社会奉仕委員長

喜 島 健一郎

* 生い立ち

古紙回収事業は、昭和51年（1976年）7月、今から14年前に当時の日高文雄社会奉仕委員長により始められた。奉仕する者は活動しなければならない、ロータリーは単なる心の持ち方だけでなく、またロータリーの哲学も単に観念的なものでなく、実際的な行動に移さなければならない。古紙を売却した代金は僅かであるが、金銭とか物品を贈ることを以て満足するのではなく、各個人、各職場において資源を大切にするという理念を育てながら、特に、心と頭と労力の社会奉仕を行おうとしてプログラムされたものであり、この考えは現在まで連綿として続いている。

* 古紙アラカルト

我がクラブでは毎月第一例会日に古紙回収を行っている。1回で回収される古紙は、約1トンでありこれは立木（直径14cm、高さ8m.）20本分のパルプに相当する。従って我々のクラブでは年間240本の森林資源を守っていることになる。正に古紙は我々の街の森林資源なのである。又、古紙は既にパルプ化工程を通った原料であり、木材から紙を作る場合に比べ古紙から紙を再生すれば、電力や重油のエネルギー消費量を三分ノ一に減らすことが出来るのである。

* 最後に

我々が古紙回収によって1年間に得る収入は、一人のロータリアンの2回分のゴルフ代でしかない、しかし毎年240本の立木を守っているのは、紛れもない事実である、それ以上に古紙回収に精をだす一人一人のロータリアンの姿が職場や家庭において、限りある資源を大切にしなければならないという素朴な、しかし最も基本的な見識を提供しているとするならば、これこそロータリーの社会奉仕の原点ではないかと思うのである。

宮崎市小・中学校教育関係者

海外派遣研修報告書

昭和61年度

宮崎市教育委員会学校教育課指導係長

蓮 井 靖

宮崎市立東大宮中学校 教諭

首 藤 真佐憲

巻 頭 言

宮崎市教育長 柚木崎 敏

今般、宮崎西ロータリークラブの御好意により、宮崎市の教育関係者2名を海外へ研修派遣をさせていただき、その時宣を得た画期的な企画と実施への英断に深甚の敬意を表します。

申すまでもなく、現代の教育の重要な課題のひとつとして、国際化への対応がございます。21世紀に生きる児童生徒を育成するうえで、自国文化に対する深い認識と敬愛とともに、異なる文化に対する理解と寛容をもたせることが大切であります。臨時教育審議会の第2次答申にもありますが、世界の中の日本人として、国際的、地球的、人類的視野の中で人格形成を目指す必要があります。

香港・台湾への教育関係者の派遣は、次代を担う子どもたちを直接教育する先生方の見識や能力を高めるため、まことに有意義なものであります。また近隣諸国、特に儒教文化の伝統をもつ両国を派遣先に選ばれたことも、青少年の健全育成に務める本市の課題とも結びつくものと考えます。

この事業は、民間団体の教育界への貢献として全国的にも類のないものだと聞いておりますが、今後研修の成果を教育現場へ十分に活用しまして、事業の趣旨が達成できるよう努めて参る所存でございます。

宮崎西ロータリークラブ

会長 日高 照雄

数年前からロータリークラブの米山記念奨学生のカウンセラーを承って台湾からの留学生やその家族とふれあう機会が多くなりました。その折に日本伝統の礼儀を重んじる精神や、生活観念についても、その良さが日本よりも近隣諸国の人々のなかに生き続けているのを感じます。日本でも青少年が国の未来を背おって育っているが同じ様にアジアの国々でも青少年が学校や家庭でどの様に過ごしているか、その実態を先生方に研修してもらうことは、特に国際化が進んで来た時代にとって非常に大事なことであります。同じアジアの民族であり、漢字を使っている隣国と日本の教育と比べて見聞を広めて将来のため大いに役立ててもらいたいとの願いからこの計画を進めて参りました。この教職員派遣研修計画実施について宮崎市 柚木崎教育長始め教育庁当局の多大な協力と、西ロータリークラブ国際奉仕委員長 高見忠典君、青少年奉仕委員長 吉田多穀君の努力と全会員の理解が得られましたので、この計画が実現いたしました。これは、ロータリークラブの奉仕の理想に基いたもので、この研修の目的が益々大きくひろがって行くことを願っております。

派遣研修にあたって

宮崎西ロータリークラブと宮崎市教育委員会が実施主体となって、宮崎市小・中学校教育関係者派遣研修が企画された。国際化、情報化と変動のめまぐるしい中であって、教育界もまた臨教審の答審にみるように、あらゆる角度からの対応を迫られている昨今である。

このような折に、全国でも初の市教委単位による派遣研修が企画実施されることになった。教育会に身を置く者として、時宜を得た誠にすばらしい企画と喜ぶ者である。今年は第1回目の派遣である。この記念すべき第1回目に私ども2名が参加することになり、喜びを抑えることができない。

派遣先は、近隣諸国ということで、香港・台湾に決定された。台湾には、かつての日本の良さが残っていると聞かし、香港にあっては、まさに国際化のはざまに息づいている国である。この両国の教育を十分に視察研修し、宮崎市にもち帰り、今後の宮崎市の教育の充実に資するに足る成果をおさめるのが私どもの使命だと肝に銘じて第1回目の派遣に参加することにした。

研修の参加にあたっては、まず第一に十分な事前準備をした。ただ行って帰るだけでは何にもならない。初めての海外である。不慣れのために不安もある。だからといって成果をあげないことは許されないことである。どんな観点から、何を、どのように見聞してくればよいのか、いわゆる、見どころ、聞きどころを十分に持ち合わせていることが準備といえるだろう。見どころ、聞きどころをどの程度押さえているかは、教育実践者の資質に関わることでもある。

にもかかわらず、内容豊かな十分な報告書にならなかったようで責任を感じているところである。一つでも諸先生方に生かしていただけるものがあれば幸いだがと思いつつ、この報告書を作成した。

最後に、宮崎西ロータリークラブ会長の日高照雄氏、旅行手続きの一切をお世話いただいた石谷氏、宮崎市教育委員会の関係各位、ロータリークラブ会員各位には、今回の派遣研修に際し一方ならぬご尽力をいただいた。感謝の意を表したい。

蓮 井 靖
首 藤 真佐憲

研修日程

香港・中華民国（台湾）派遣研修旅程表

期間 昭和61年11月25日～12月1日

日 時	月日・曜	滞在地・発着	備 考
1	11/25 (火)	宮 崎 福 岡 " (台 北) (") 香 港	
2	11/26 (水)	香 港	学校訪問 香港日本人学校 日本領事館
3	11/27 (木)	香 港 台 北	午後 日中交流協会 仁愛国民小学校など訪問
4	11/28 (金)	台 北	終日、青少年教育問題について 内湖中学校、中国青年救国団訪問
5	11/29 (土)	台 北	市内表敬訪問 国立故宮博物院、忠烈祠、総統府
6	11/30 (日)	(空 港) 台 北 福 岡	台北日僑学校訪問 出国手続後、中華航空機にて福岡へ
7	12/1 (月)	福 岡 宮 崎	東亜国内航空機にて宮崎へ 帰着

派遣研修の成果

1. 外国の教育を見て、自国の教育との違いがわかり、改めて自国の教育を見なおす視点を多く持つことができるようになった。
2. その国の青少年の姿は、その国の社会の反映であることが、外国を見ることによっていっそうはっきりした。
3. 日本も地球上の一地方という感覚を実感することができた。国際社会の一員として、常に世界の中の日本という立場で教育を考えることの必要を膚で感じることもできた。
4. 教育に限らずいろいろな面で視野を広げることができた。それが教育という営に必ず作用してくるはずである。

一週間にわたる派遣研修に参加して、自分なりに得る所多く、成果をあげることができた。明日からの実践に生かしていくと共に、その成果を多くの教育関係者に分かち合いたい気持ちでいっぱいである。改めて、報告書として整理してみると、まとめ方の不手ぎわのためか見聞の万分の一も伝えていないように思えてならない。膚でわかった部分の表現が拙いためであろう。それを補うためにも機会をとらえて口頭で語りかけていきたいと思う。

宮崎西ロータリークラブ、宮崎県教委、宮崎市教委、旅行社の担当者、今回の研修のためにご尽力いただいた方々に改めてお礼申し上げます。

昭和61年11月15日

2教職員を海外へ

宮崎西RC、全国でも初



蓮井 靖氏



首藤真佐憲氏

宮崎西ロータリークラブ(日高照雄会長、七十六人)が今年から実施する教職員海外派遣研

一、宮崎市のホテルフェニックスまで二週間の日程で香港、台湾

台北市の小、中学校や日本人学校、台湾省立青少年センターを

宮崎日日新聞

二人の紹介、記念バッグの贈呈のあと、蓮井、首藤両氏が「宮崎の教育を見直す絶好のチャンス。しっかり勉強して来ます」と、決意を述べた。

「この事業が、学校の先生たちの教育活動に少しでも、刺激になれば、企画した例にとても喜ばしいことです」と穏やかな話しぶり。

宮崎西ロータリークラブの全額負担で、宮崎市内の小、中学校の教師の海外、国内の視察研修を行う事業。先日(10月17日)の例会で、正式に決めた。

派遣先は、海外が香港と台湾。十一月末から約一週間二人の教師を派遣する。

「入選は、市教委で行って貰っており、来週には決定の見込み。候補者としては十数人リストアップされているよつた」という。事業については同クラブの国際奉仕(高見忠典委員長)と青少年奉仕(吉田多毅委員長)の両委員

長が案を練った。「会員の中から事業についてのいろいろな意見が出ました。一週間余りの海外視察で

人物往来

教育の事情が分かるのか、いかに賛否両論があったという。しかし、全会員(七十六人)のほとんどが、教育に熱心で、最終的には全員が賛成した。

国内外の宮崎西ロータリークラブの教師の視察研修

日高 照雄さん



教育活動に刺激を

決定後、教育関係者やOBから「国際化が進む中で、海外などへ行く教職員は少ない。良い事業を企画してもらおう」との激励などもあり、

事業に自信も深めている。また市教委にも、条件整備してもらったと喜ぶ。

同ロータリーでは、いろいろな事業を行っているが、社会奉仕基金委員会で実施している奨学生制度は、インターアクトクラブを持つ宮崎商業高校生を対象に実施、すでに十数年になる。宮崎西ロータリークラブの二十七代目の会長、十八代宮崎JCI理事長(四十四年)を務めた実績も持つ。宮崎市橋通西三丁目の日高時計宝飾店専務。「仕事は経験が長いというだけでは駄目になった」とキャリアだけの商売を否定する。開店前のラジオ体操と中国語の勉強を欠かさない。妻・日出子さんと二男二女。五十四歳。

宮崎市小・中学校教育関係者

海外派遣研修報告書

昭和62年度

宮崎市教育委員会

宮崎西ロータリークラブ

報告にあたって

昨年度に引き続き、宮崎西ロータリークラブの特別事業による教職員海外派遣研修が企画されました。実施にあたっては、宮崎西ロータリークラブと宮崎市教育委員会が実施主体となって計画がすすめられ、本年度は、韓国を研修視察することになりました。

21世紀に生きる子どもたちに求められる資質の一つに、国際社会の一員としての自覚と責任をもつ人間があげられておりますが、このような資質を身につけるための教育の在り方については、教育関係の諸審議会ですいろいろと検討されているところであります。このたびの教育課程審議会の答申で明らかなように、教育課程の基準の改善のねらいの一つに、国際化にむけての学校教育の質的改善がうたわれております。学校教育におけるこれからの新しい国際化への対応がうきぼりにされたわけであります。

このような時期に、我が国の歴史と深いかかわりをもつ韓国を訪問し、教育事情や伝統文化等を視察できることは、明日を担う子どもたちを教育する私どもにとって、極めて意義深いものであります。

訪問する韓国は、地理的に最も近い隣国であり、また、我が国の歴史上最も関係の深い国であるにもかかわらず、現在では、「近くて遠い国」と一般的にいわれております。同じアジア民族である両国が、文化、教育、スポーツ等、いろいろな面で交流を図り、理解親善に努めることは両国の発展に大きく寄与できるものと思われまます。

近年、めざましい発展をとげている韓国については、新聞・テレビ等のマスコミによる情報でしか国情を知ることのできない私どもにとって、訪韓は初めての経験であり、それだけに、大きな喜びと期待感をもって訪問することができます。見聞したいことは、山ほどあるのですが、教育事情視察の目的を考えますとき、このたびは、儒教の精神、儒教文化に支えられた教育の現状を視察することに重点をおきました。視察地を、ソウル、慶州、釜山にしばったのもそのような意図があったからであります。

ここに集録しましたものは、視察の目的を果たすには程遠いものでありますが、韓国の教育の現実の姿、それに対する私どもの率直な感想を記したものであります。

最後に、このような研修の機会を与えてくださいました宮崎西ロータリークラブ並びに宮崎市教育委員会に対し厚く感謝を申し上げますと共に、訪問先、訪問日程等で多大の労をとってくださいましたロータリークラブ会長内村龍祐氏、会員宮下廣計氏に対し厚くお礼を申し上げます。

宮崎市教育委員会学校教育課 坂 元 昌 訓
主幹兼指導係長

宮崎市立恒久小学校 教 諭 大 山 勇 夫

宮崎市立赤江中学校 教 諭 中 田 進

研修視察の日程

韓国派遣研修旅程表

昭和62年10月26日～31日

日次	月日・(曜)	滞在地・発着	行程
1	10/26 (月)	宮崎→福岡 福岡→ソウル	ソウル市内見学
2	10/27 (火)	ソウル	民族村見学 オリンピック施設見学
3	10/28 (水)	ソウル	ソウル市内小学校訪問 ソウル市内小学校訪問
4	10/29 (木)	慶州 (列車)	文化施設見学 (仏国寺、博物館、古墳)
5	10/30 (金)	釜山 (専用車)	釜山市教育委員会訪問 釜山市内小・中学校訪問 釜山市内見学
6	10/31 (土)	釜山→福岡 福岡→宮崎	帰着

道徳教育及び基本的行動様式 (含生徒指導)

(1) 韓国の道徳

韓国は道徳教育を重視している。道徳の時間数をみると、日本では小・中学校ともに週1単位時間であるが、韓国では小学校週2単位時間、中学校も週2単位時間と多い。また日本では副読本とか、文部省の資料、あるいは地域の実態を生かした資料を教師が必要に応じて活用しているが、韓国では国定教科書を使用している。

また特徴的なのは、学級担任自作の評価テストを年間4回行っていることである。

評価テストの結果は、児童・生徒はほとんど90点以上の高い得点をとっているそうだけれども、そのことが日常生活の実際の場にかに生きてはたらくかが問題であるとのことであった。

(2) 五行三節運動の実践

五行とは親切・礼儀・秩序・清掃・奉仕、三節とは小使いの使い方・学用品の使い方・節電である。ある小学校を訪問したところちょうど清掃の時間であったが、教師も児童もともに無言で作業をしていた。ある女子中学校では廊下ですれちがう生徒はみな整然と一列左側通行をし、私達にきちんと会釈をする姿は、この五行三節運動の結果が身につけているものと思われた。

(3) 基本的な生活習慣の指導

五行三節運動を基本にすえ、次のような具体的指導が行われている。

- 国の基準としての指導書にそって指導する。
- △△週間などが設定されている。
- 儒教から発している伝統的な教育として礼儀心が受け継がれている。
- 物を大切に使う教育が、研究公開等で奨励されている。

教科書の再利用もその一つである。

〔ある小学校の例〕

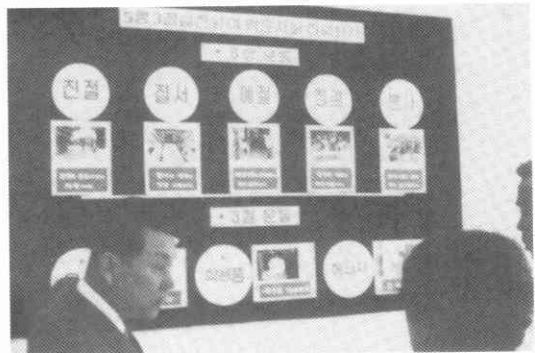
9時より3分間程の冥想の時間に入った。全校一斉に静かになり物音一つしない。担任も子供も正しく座し目をつぶっている。

それから校内放送が入った。通訳に放送の内容をたずねると、

- 今日一日すこやかに過ごしましょう。

- 人に迷惑をかけないようにしま

しょう。などとよびかけているのだそうである。このあと司会者が一人出て子供達に発表させはじめた。



〔学校の玄関に掲示されている五行三節のパネル〕



〔冥想の時間〕

- ・私は昨日こんなあやまちをおこしました。
- ・私はこんなよいことをしました。
- ・私はこんなところを直したい。 等と発表しているのだそうである。

学校では上ばき下ばきの区別はなく、制服もない。1、2年生は清掃はせず、清掃夫4人が行い、3年生以上は、教師と共に清掃を行うとのことである。

〔ある中学校の例〕

女子中学校を訪問した。一学級60人ぐらいの生徒数であり、多いなあと感じた。礼節を教える特別教室があり、女性としての身だしなみや、立居ふるまい等を身につけさせる場である。

小学生と同じく中学校も制服はなかった。腕時計も自由になっている。

女子中学校だからかも知れないが、けんかやいじめや非行はほとんど無いとのことであった。

ちょうど昼食時間になったが、日本のように給食指導ではない。グループでたべたり、インスタント食品をたべているのにはほほえましくおもえた。

特別教室をのぞいてみると数人のグループになって勉強していた。通訳をとおしてたずねてみると、はやくごはんを食べ終わったので自学自習をしているのだという。このときの女子生徒の礼儀正しさはすばらしかった。はにかみやものおじする姿は全くなく、さっと立ってはきはき答えてくれた姿は今だに印象に残っている。

いずれにしても、小中学校一貫した道徳教育の充実や五行三節等の基本的行動様式の具体的指導の徹底が、実生活の子供達の姿や行動に表われていることを、いたるところで感得することができた。



◆〔女子中学校の学習のようす〕



研 修 を お え て

一週間の韓国派遣研修に参加し、隣国であるのにもかかわらず我が国との教育の違いが大きいのに驚きました。教育の営みは、その一つの側面として自国の文化や伝統を伝達継承することにあることを考えますとき、訪問した韓国は、その文化、歴史、伝統を重んじる教育が積極的に進められ、大きな成果をあげていることがわかりました。報告書の中に記しましたように、道徳教育の充実は顕著な例でありましょう。

国際化が進行する今日の社会にあって、それに対応する教育の在り方として、まずは、自国の自然、文化、伝統を尊重する教育が重視されなければならないわけですが、我が国の教育の現状を考えますとき、この面での教育の見直し、改善が必要ではないかと考えます。

いずれにしても、韓国の教育事情を見聞し、改めて我が国の教育を見直す視点をもつことができ、誠に有意義な研修でありました。

宮崎西ロータリークラブ、宮崎市教育委員会、旅行社の担当の方々に、改めてお礼を申し上げます。

中央版

市町町町町町町
崎武野原富岡
宮清田佐国高綾

漢方のおがもと

薬剤師 鍼灸師 岡元伸二郎
宮崎市上野町6番18号 ☎(0985) 273333 248966
薬剤師 岡元りえ子

新聞広告のお申し込みは
☎(0985) 24-5700
宮日広告
☎(0985) 24-6527
宮日サービスセンター
☎(0985) 29-1441
案内宮日

宮崎西ロータリー派遣

台湾・香港海外研修

宮崎西ロータリー・クラブ
(日高照雄会長・七十六人)
は、独自の教職員海外派遣研
修事業を実施した。海外の教
育事情を視察して、今後の県
内での教育活動に生かしても
らうのが狙い。第一回は、市
教委の蓮井靖さん(五十)、東大
高中教諭の首藤真佐憲さん
(四七)の二人を、一週間の日程
で台湾、香港へ派遣した。そ
の視察の見たまきを報告して
もらった。

台湾の滞在は四日間。わが
国の文部省にあたる教育部の
世話で、台北市内にある仁愛
小、内湖中の二校で、先生や
児童・生徒と直接触れ合える

を超乎児童数を抱えるウルトラマンズ校がある。この小学校は約六千人。百二十クラスの規模。教育の基本は孫文の三民主義。教室に孫文の写真を飾り、知育、体育、徳育、美育の五育が柱。群育は集団教育(行動)、徳育や生活習慣の育成のため、毎朝道徳教育(公民の時間)や生活習慣を育てる補導活動の時

礼儀正しい生活態度 活発な家庭、地域教育

現地では小規模校で男女別学である。中学生の問題行動について、黄校長は「決してよそごとはない」という。黒板に服装のことや、請勿吸烟と禁煙を呼びかける文字が目についた。しかし、生徒は明るく素直な印象だった。毎週道徳教育(公民の時間)や生活習慣を育てる補導活動の時

湾は教育の充実、発展への努力が随所に見られ、教育関係者の熱意と児童、生徒たちの学習に取り組む真剣さ、礼儀正しい生活態度が印象に残った。

仁愛小では全校児童の熱烈的な歓迎を受け、授業も自由に参観できた。台湾には一万人だが、生徒教約二千五百人。

間が組まれている。校則違反に対する指導は厳しく、長髪の生徒のために、格安で利用できる理容コーナーが校内に設けられている。台北市においては家庭や地域の教育力が十分に機能しており、PTAは「家長会」と呼ばれ、父兄が、学校と市民の親切的な参観に感銘を受けた。また日



児童の五育が教育の基本の台湾の教育
(仁愛小学校・図書館)

スカウト等の地域の活動も活発で青少年の健全育成に努める民間団体も結成されているということである。

短期間の研修・視察であったが、学校と市民の親切的な参観に感銘を受けた。また日

本では忘れられつつある教師への信頼、厳しく温かな家庭や地域でのしつけなどについて、儒教文化圏に属する国の教育に教えられることも多かつた。

(蓮井靖・市教委)

中央版

市町町町町町町
 崎武野原富岡
 宮清田佐国高純

漢方のおがもと
 養神師 鍼灸師 岡元伸二郎 養神師 岡元りえ子
 宮崎市上野町6番18号 ☎(0985) 27-3333 24-8966

新聞広告のお申し込みは
 ☎(0985) 24-5700
 宮日広告
 ☎(0985) 24-8527
 宮日サービスセンター
 ☎(0985) 29-1441
 案内宮日

宮崎西ロータリー派遣

台湾・香港海外研修

東洋のテクノポリス・香港は人口五百六十万人。中国への返還を間近に控えているが、九龍地区の近代的な林立する高層ビルがある一方で、水上生活者の小船が混在する超過密都市である。学校は公立がほとんどだが、カトリック系を含む私立学校もあると聞いた。今回の研修では香港現地の学校内の視察はできなかった。学校は、香港の土地不足という事情で、林立するビルと交わらない。校舎が街並みの中に立っている感じであった。昼食時には、児童・生徒は周辺の食堂へ行き、昼食をとるといふ話に興味を持った。

高校、大学への進学は、容易でなく、極端に限られた狭い門であり、激しい受験競争が行われている。町を歩いてみても、昼、夜とも子供たちの姿を見かけることはほとんどなかった。書店でのポルノ雑誌等も少なく、テレビ番組も規制されている。家族との生活が重要視されている結果でもあるのだから、家庭は祖父母も同居しており、しつけには厳しく、敬老や親孝行の精神が生きているとの現地

通訳の話であった。私たちは香港と聞くと国際犯罪など犯罪の巣みたいな存在と思う向きがあるが、少年非行の率は、東京よりはるかに低く青少年を取り巻く環境は、よいとの領事館での説明を聞き、思ったより健全なのでは……と認識を新たにした。

育事情を詳細に聞くことができた。日本人学校は眺望のきく丘陵地にあり、小、中学校合わせて児童・生徒千四百人。教職員数六十二人。校舎は新しく近代的な建物である。運営は法人組織で、現地の企業が主体となつて理事會で経営している。日本企業などの海外進出、国際化の傾向を受け、児童・

進学ととても難しく 少ない暴力、性のTV放映

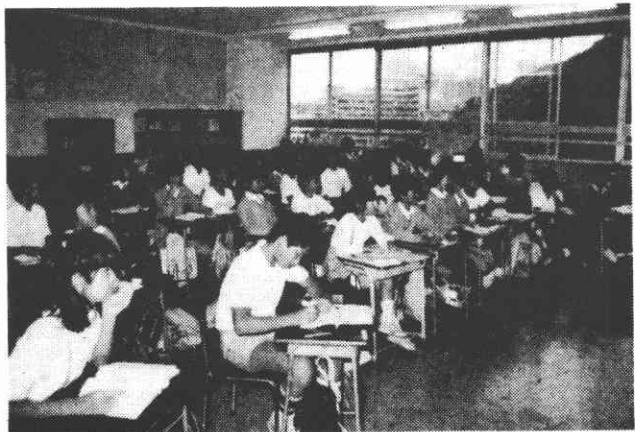
少ない暴力、性のTV放映

た。校長先生は、本県から派遣されて倉山久信先生(前北郷中学校長)である。同校に次いで二回目の海外生活。夫婦とも元気で、懐かしい郷里の話に花を咲かせた。ここでも親切な案内を受け、

生徒の数も年々増加の一途をたどっている。倉山校長も校舍増築のため、資金集めに奔走されているようであった。子供たちも熱心に授業を受け、礼儀正しく、問題行動などは皆無と教頭先生の表情は明るかった。

台湾の日本人学校にも共通することが、帰国子女の問題は大きい。高校進学時期にならわが国と共通する点が多く「日本も地球上の」地方である」との実感を改めて認識することができた。

親の転勤一などについての悩みを聞かされた。香港の教育事情の一端に触れて、少年非



香港で学ぶ海外在住者の子弟たち (日本人学校で)

進学競争は、わが国でも激しいものがあるが、香港でも

た。校長先生は、本県から派遣されて倉山久信先生(前北郷中学校長)である。同校に次いで二回目の海外生活。夫婦とも元気で、懐かしい郷里の話に花を咲かせた。ここでも親切な案内を受け、

生徒の数も年々増加の一途をたどっている。倉山校長も校舍増築のため、資金集めに奔走されているようであった。子供たちも熱心に授業を受け、礼儀正しく、問題行動などは皆無と教頭先生の表情は明るかった。

台湾の日本人学校にも共通することが、帰国子女の問題は大きい。高校進学時期にならわが国と共通する点が多く「日本も地球上の」地方である」との実感を改めて認識することができた。

親の転勤一などについての悩みを聞かされた。香港の教育事情の一端に触れて、少年非

論 (首藤真佐憲・東大宮中教)

会 員 名 簿



氏名 秋山 久
 生年月日 S 7. 1. 10
 委員会 会員 増強
 職業分類 シニア・アクティブ
 勤務先 (有)江戸銀 店主
 中央通 2-6
 自宅 月見ヶ丘 1-7-4

TEL 23-4441
 TEL 51-7285



氏名 阿南 育男
 生年月日 S 8. 6. 14
 委員会 会 長
 職業分類 シニア・アクティブ
 勤務先 医療法人社団敬寿会 阿南内科医院 理事長・院長
 清水 3-2-50
 自宅 清水 3-2-50

TEL 25-2255
 TEL 27-8640



氏名 安倍 友彦
 生年月日 M 43. 10. 16
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニア・アクティブ
 勤務先 宮崎ゴルフ(株) 監査役
 大字田吉字松崎4855
 自宅 鶴島 1-6-8

TEL 56-4114
 TEL 22-7874



氏名 荒川 隆
 生年月日 T 12. 10. 9
 委員会 広 報
 職業分類 シニア・アクティブ
 勤務先 (株)宮崎放送 代表取締役社長
 橘通西 4丁目 6-7
 自宅 鶴島 3丁目 56-1

TEL 25-3111
 TEL 25-7918



氏名 飯泉 喜八郎
 生年月日 S 14. 1. 3
 委員会 インターアクト
 職業分類 証 券 業
 勤務先 日興証券宮崎支店 支店長
 橘通西 4丁目 1番32号
 自宅 丸山 2丁目 132番地

TEL 24-5151
 TEL 22-6421



氏名 飯田 憲三
 生年月日 S 18. 9. 10
 委員会 親 睦
 職業分類 生命 保険
 勤務先 日本生命保険相互会社 宮崎支社長
 高千穂通1-7-32 TEL 24-7111
 自宅 船塚3-192 TEL 27-6820



氏名 市来 斉
 生年月日 S 7. 12. 24
 委員会 広 報
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 市来外科医院 院長
 和知川原2-14-2 TEL 25-1888
 自宅 和知川原1-26 TEL 29-0639



氏名 井手脇 万 詔
 生年月日 S 19. 10. 8
 委員会 インターアクト
 職業分類 専 門 学 校
 勤務先 宮崎ビジネスコンピュータ専門学校 副校長
 高千穂通2-4-37 TEL 27-6502
 自宅 清水3-3-24 TEL 24-8319



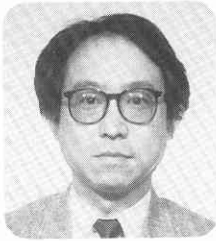
氏名 稲倉 正 孝
 生年月日 S 14. 2. 26
 委員会 職 業 奉 仕
 職業分類 胃 腸 科 医
 勤務先 稲倉胃腸科 院長
 大塚町馬場崎3554-2 TEL 53-1411
 自宅 大塚町馬場崎3554-2 TEL 53-1411



氏名 井上 洋 一
 生年月日 S 6. 5. 30
 委員会 会 計
 職業分類 地 方 銀 行
 勤務先 宮崎太陽銀行 取締役証券部長
 橋通西3-3-27 TEL 24-2111
 自宅 権現町127-21 TEL 25-4186



氏名 岩井隆一
 生年月日 T 11. 6. 25
 委員会 R 財 団
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 (株)合志商事 代表取締役
 中村西1-2-3 TEL 51-3954
 自宅 谷川1-6-21 TEL 51-3754



氏名 岩切承自
 生年月日 S 24. 6. 18
 委員会 親 睦
 職業分類 書籍配布
 勤務先 (有)岩切書店 代表取締役
 松山2丁目3-6 TEL 22-6362
 自宅 松山2丁目3-6 TEL 22-6362



氏名 岩切宏海
 生年月日 S 19. 12. 12
 委員会 インターアクト
 職業分類 建築設計
 勤務先 (株)岩切設計 代表取締役
 橘通西1丁目4番12号 TEL 23-4785
 自宅 清水3-8-4 TEL 29-4021



氏名 岩満栄策
 生年月日 T 12. 12. 4
 委員会 R 財 団
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 宮崎交通(株) 取締役会長
 大淀3-4-26 TEL 51-5151
 自宅 西池町12-62-204 TEL 32-1510



氏名 内村龍祐
 生年月日 S 8. 5. 14
 委員会 R 情 報
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 (株)内村商店 専務取締役
 橘通西4-3-26 TEL 24-4051
 自宅 橘通西4-3-26 TEL 27-7070



氏名 江田 祐典
 生年月日 S 12. 12. 13
 委員会 国際奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 日本エンタープライズ 代表取締役社長
 大字田吉字中の又6088-12 TEL 54-3722
 自宅 恒久3-4-6 TEL 51-3093



氏名 衛藤 清隆
 生年月日 S 23. 4. 16
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 衛生管理事業
 勤務先 (有)佑生環境センター 代表取締役
 東大淀1丁目1番41号日防ビル1F TEL 53-3286
 自宅 中村東1-6-19 TEL 53-0893



氏名 大江 幸政
 生年月日 S 25. 10. 5
 委員会 インターアクト
 職業分類 整形外科
 勤務先 大江整形外科病院 副院長
 大橋1-14 TEL 24-5615
 自宅 大橋1-62-2 TEL 22-4869



氏名 大 蘭 英 治
 生年月日 S 19. 11. 19
 委員会 親 睦
 職業分類 建築付帯工事
 勤務先 オーゾノ(株) 専務取締役
 大字瓜生野字牟田8184-1 TEL 41-2730
 自宅 霧島3-109-1 TEL 26-5815



氏名 大 健 耕 嗣
 生年月日 S 3. 2. 16
 委員会 インターアクト
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 オーダテ写真スタジオ
 橋通西1-4-27 TEL 25-4048
 自宅 橋通西1-4-27 TEL 25-4048



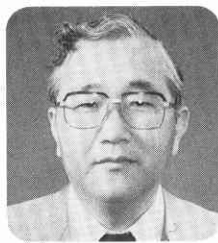
氏名 大塚 一止
 生年月日 T 6. 6. 15
 委員会 プログラム
 職業分類 農業教育
 勤務先 聖心ウルスラ学園短期大学 教授・学科長
 延岡市緑ヶ丘5-667-1 TEL (0982) 33-3203
 自宅 希望ヶ丘3-21-30 TEL 56-5307



氏名 小川 次男
 生年月日 T 15. 7. 1
 委員会 R 情報
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 小川産婦人科医院 院長
 清水3-1-22 TEL 24-1016
 自宅 清水3-3-29 TEL 28-1527



氏名 奥 彰
 生年月日 S 24. 8. 25
 委員会 クラブ会報
 職業分類 住宅産業
 勤務先 大和ハウス工業(株) 支配人専務
 大工2丁目160番地 TEL 26-5110
 自宅 大塚町天神後2704-9 TEL 51-2465



氏名 小田原 義征
 生年月日 S 19. 4. 5
 委員会 幹事
 職業分類 不動産業
 勤務先 常盤産業(株) 代表取締役
 南花ヶ島町336-1 TEL 23-7777
 自宅 下北方町常盤元1051 TEL 24-4938



氏名 門田 廣
 生年月日 S 23. 11. 23
 委員会 クラブ会報
 職業分類 企業保険
 勤務先 住友生命保険相互会社宮崎支社 支社長
 高千穂通1丁目6-35 TEL 26-1611
 自宅 中津瀬町64 TEL 22-2965



氏名 川野良博
 生年月日 S 31. 9. 5
 委員会 クラブ会報
 職業分類 清酒飲料配布
 勤務先 宮崎中央酒販(株) 代表取締役社長
 祇園2-46 TEL 23-5368
 自宅 松橋2-6-33 TEL 22-3368



氏名 川邊政明
 生年月日 T 9. 2. 6
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 宮崎ナショナル家電販売(株) 取締役会長
 宮崎郡清武町下加納366-2 TEL 85-3636
 自宅 下北方町横小路5928-20 TEL 23-3006



氏名 神崎義世
 生年月日 S 16. 11. 23
 委員会 クラブ会報
 職業分類 建築工事
 勤務先 神崎建設工業(株) 代表取締役
 江平西1丁目3番6号(第八丸三ビル TEL 25-1233
 和知川原2丁目98-3 3F) TEL 27-8262



氏名 菊池彰
 生年月日 T 3. 1. 15
 委員会 R 情報
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 菊池歯科医院 院長
 橋通西2-7-22 TEL 26-3173
 自宅 橋通西2-7-22 TEL 22-2881



氏名 菊池皓一郎
 生年月日 S 5. 5. 2
 委員会 会員増強
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 (有)菊池商店 代表社員
 橋通西4-3-29 TEL 24-2243
 自宅 橋通西4-4-25 TEL 24-3091



氏名 菊地 平
 生年月日 S 8. 11. 28
 委員会 親 睦
 職業分類 シニア・アクティブ
 勤務先 (株)MOS 代表取締役
 神宮東 1-1-38 TEL 28-3773
 自宅 東大宮 2-26-31 TEL 24-9298



氏名 喜島 健一郎
 生年月日 S 22. 4. 18
 委員会 社会奉仕
 職業分類 調剤薬局
 勤務先 (株)フジ薬局 代表取締役
 橘通東 3-5-21 TEL 26-4892
 自宅 淀川 3-2-28 TEL 52-3654



氏名 黒木 満夫
 生年月日 S 18. 11. 23
 委員会 クラブ会報
 職業分類 不動産鑑定士
 勤務先 (株)黒木総合鑑定 代表取締役社長
 松橋 1-5-27 TEL 27-3434
 自宅 平和が丘西町29-8 TEL 28-4396



氏名 小林 貞雄
 生年月日 S 7. 5. 28
 委員会 広 報
 職業分類 テレビ放送
 勤務先 テレビ宮崎 代表取締役副社長
 祇園 2-78 TEL 31-5222
 自宅 曾師町139 TEL 26-4021



氏名 佐伯 司朗
 生年月日 S 12. 5. 28
 委員会 社会奉仕
 職業分類 事務用品配布
 勤務先 (株)宮崎コクヨ 取締役社長
 吉村町久保田甲922-1 TEL 29-7777
 自宅 橘通西 5-4-1 TEL 29-8888



氏名 堀 久
生年月日 T 13. 1. 24
委員会 R 情報
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 (株)ユニック 相談役
大橋1-79
自宅 広島1-15-26

TEL 27-5293
TEL 28-2280



氏名 坂本 健太郎
生年月日 S 22. 12. 23
委員会 社会奉仕
職業分類 和洋酒小売
勤務先 (株)大阪屋 代表取締役社長
橘通西3丁目2-26
自宅 橘通西3丁目2-26

TEL 25-3166
TEL 25-3166



氏名 佐原 正晃
生年月日 S 6. 4. 19
委員会 会員増強
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 (有)ダスキン佐原 代表取締役
恒久1-3-30
自宅 大字恒久1-3-3

TEL 52-4545
TEL 51-3240



氏名 重城 寿雄
生年月日 S 2. 11. 24
委員会 会長エレクト
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 重城外科医院 院長
橘通西4-4-21
自宅 橘通西4-4-21

TEL 24-7415
TEL 24-7415



氏名 志多 克彦
生年月日 S 16. 3. 24
委員会 プログラム
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 (株)国土開発コンサルタント 代表取締役社長
大工3-155
自宅 江平東1-7-29

TEL 24-6487
TEL 26-1808



氏名 柴田博文
 生年月日 S21. 7. 7
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 総合ビル管理
 勤務先 第一ビル管理(株) 代表取締役
 柳丸町78-19
 自宅 西池町11-12

TEL 24-6667
 TEL 27-8626



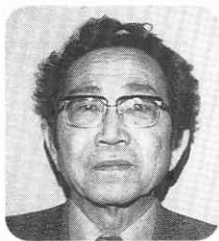
氏名 新恵誠
 生年月日 S 2. 9. 2
 委員会 クラブ奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 (株)ホーチキ宮崎 代表取締役
 桜ヶ丘25-4
 自宅 桜ヶ丘25-4

TEL 47-1230
 TEL 47-6148



氏名 鈴木敏道
 生年月日 T 14. 6. 30
 委員会 会員増強
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 すゞや 代表取締役
 月見ヶ丘1丁目7-9
 自宅 月見ヶ丘1丁目7-9

TEL 52-7250
 TEL 52-7250



氏名 陶山信
 生年月日 S 2. 3. 14
 委員会 会員増強
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 陶山信歯科医院 院長
 和知川原2-6-1
 自宅 大橋1-124-1

TEL 24-7774
 TEL 22-3861



氏名 高見忠典
 生年月日 S 8. 2. 3
 委員会 プログラム
 職業分類 公益事業
 勤務先 総合葬祭みやそう 代表取締役
 清水3-2-21
 自宅 清水3-2-21

TEL 25-4444
 TEL 25-4444



氏名 竹内三郎
 生年月日 T 10. 8. 9
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 竹内病院 院長
 霧島2-260
 自宅 霧島2-260

TEL 26-0123
 TEL 24-6550



氏名 竹野融
 生年月日 M 41. 12. 8
 委員会 R 財 団
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 青葉中央病院
 青葉町6-1
 自宅 清水1-13-25

TEL 25-0211~3
 TEL 22-2653



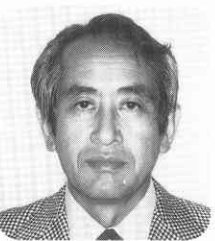
氏名 田崎高伸
 生年月日 S 13. 5. 26
 委員会 国際奉仕
 職業分類 皮膚科医
 勤務先 田崎医院 院長
 高松町4-42
 自宅 高松町4-42

TEL 23-2861
 TEL 22-0139



氏名 田崎博俊
 生年月日 S 24. 5. 13
 委員会 S. A. A
 職業分類 薬剤師
 勤務先 センチュリーメディック(株) 代表取締役
 高松町4番40号
 自宅 原町9番1号

TEL 28-9629
 TEL 29-0616



氏名 土屋利紀
 生年月日 S 9. 2. 11
 委員会 国際奉仕
 職業分類 眼科医
 勤務先 医療法人慶明会 宮崎中央眼科病院 理事長
 清水3丁目6-21
 自宅 小松1158-5

TEL 24-8661
 TEL 48-2618



氏名 角地 次男
生年月日 S 5. 11. 14
委員会 副 幹 事
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 (株)企画アトワンス 代表取締役
下北方町井手下南27-2 TEL 29-5284
自宅 下北方町役田740-10 TEL 24-4893



氏名 津守 康宏
生年月日 S 2. 1. 22
委員会 職 業 奉 仕
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 津守(株) 代表取締役社長
大橋3丁目135番地1 TEL 27-7021
自宅 大工2-152 TEL 22-3997



氏名 都原 清次
生年月日 S 24. 9. 24
委員会 親 睦
職業分類 家 具 製 造
勤務先 (株)都装備 代表取締役
阿波岐原町前田2611 TEL 24-3414
自宅 阿波岐原町前浜4276-52 TEL 24-3413



氏名 外山 三博
生年月日 S 14. 11. 6
委員会 青 少 年 奉 仕
職業分類 蒸 留 酒 製 造
勤務先 トヤマ産業(株) 代表取締役
下北方町平の下5200-2 TEL 27-0124
自宅 大字新名爪1288 TEL 39-2292



氏名 中村 浩
生年月日 S 7. 5. 20
委員会 親 睦
職業分類 ホ テ ル 業
勤務先 フェニックス国際観光(株) 専務取締役総支配人
大字塩路浜山3083 TEL 39-3131
自宅 下北方町戸林5350-1 TEL 25-7916



氏名 長崎 康啓
生年月日 S 25. 8. 8
委員会 親睦
職業分類 印刷業
勤務先 (株)長崎印刷 専務取締役
船塚1丁目23番
大塚町京園3101

TEL 25-8262
TEL 51-4853



氏名 長峰 市次
生年月日 M 42. 1. 1
委員会 広報
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 (株)長峰製氷冷蔵所 代表取締役
松橋町1-6-32
宮田町10-18

TEL 22-3016
TEL 22-3016



氏名 西岡 恒之助
生年月日 S 2. 6. 11
委員会 社会奉仕
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 (有)西岡雄一郎商店 代表社員
上野町2-16
上野町2-16

TEL 27-3311
TEL 27-3311



氏名 沼口 浩基
生年月日 S 23. 11. 11
委員会 親睦
職業分類 土産物小売
勤務先 (有)本部はにわ製作所 代表取締役社長
清水町3丁目8の11
西池町6-2

TEL 23-6034
TEL 26-1638



氏名 橋本 一郎
生年月日 T 4. 3. 15
委員会 出席
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 宮崎トヨペット(株) 取締役
花ヶ島立毛1070
神宮1-302

TEL 23-2111
TEL 26-1187



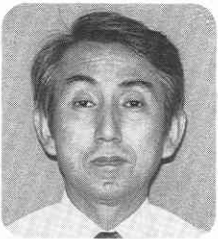
氏名 橋本善吉
 生年月日 S 2. 5. 11
 委員会 出 席
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 (株)橋本銀三商店 代表取締役専務
 橋通西5-3-24 TEL 22-2233
 自宅 神宮1-22 TEL 24-6970



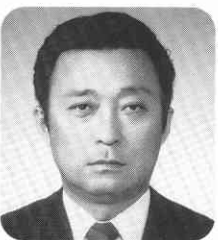
氏名 濱砂猛敏
 生年月日 S 4. 12. 20
 委員会 副 会 長
 職業分類 ガス供給
 勤務先 宮崎ガス(株) 代表取締役社長
 宮脇町50 TEL 24-2511
 自宅 大字赤江545-29 TEL 53-7121



氏名 林 務
 生年月日 S 22. 10. 11
 委員会 出 席
 職業分類 土 木
 勤務先 林産業(有) 代表取締役
 丸山2-291-1 TEL 24-6523
 自宅 丸山2-291-2 TEL 26-1705



氏名 原 忠之
 生年月日 S 18. 11. 10
 委員会 クラブ会報
 職業分類 医薬品配布
 勤務先 (株)ハラ薬局 社長
 清水1-1-1 TEL 23-5138
 自宅 下北方町下郷6080-6 TEL 25-5604



氏名 日高常一
 生年月日 S 19. 3. 14
 委員会 青少年奉仕
 職業分類 建築材料
 勤務先 (株)竹専建材店 代表取締役社長
 霧島4-132-1 TEL 27-6111
 自宅 霧島4-144-1 TEL 27-2503



氏名 日高 照雄
 生年月日 S 7. 1. 30
 委員会 国際奉仕
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 (株)日高時計宝飾店 専務
 橘通西3-10-36 TEL 24-4757
 自宅 神宮西1-38 TEL 24-4758



氏名 日高 文雄
 生年月日 T 14. 7. 20
 委員会 社会奉仕基金運営
 職業分類 シニア・アクチブ
 勤務先 宮崎マツダ販売(株) 代表取締役会長
 丸山1-148-1 TEL 24-6181
 自宅 下北方町井手下南25-2 TEL 25-1555



氏名 平山 輝男
 生年月日 T 7. 12. 10
 委員会 R 財 団
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 (株)宮崎銀行 代表取締役会長
 橘通東4-3-5 TEL 27-3131
 自宅 月見ヶ丘1-21-2 TEL 51-6571



氏名 尾藤 博澄
 生年月日 T 13. 9. 15
 委員会 プログラム
 職業分類 シニアアクチブ
 勤務先 (株)尾藤商店 代表社員
 阿波岐原町前浜4276-487 TEL 26-2885
 自宅 阿波岐原町前浜4276-487 TEL 26-2885



氏名 前園 善彦
 生年月日 S 14. 1. 13
 委員会 出 席
 職業分類 清涼飲料配布
 勤務先 岩下産業(株) 代表取締役社長
 橘通西3-9-11 TEL 24-1201
 自宅 神宮東2-11-37 TEL 27-3232



氏名 前田 暢 俊
 生年月日 S 12. 8. 3
 委員会 副 S. A. A
 職業分類 建 築 事 務 所
 勤務先 (株)毛利前田建築設計事務所 代表取締役
 江平西 1 - 2 - 22 TEL 25-1141
 自 宅 下北方町高下6121- 4 TEL 27-2790



氏名 松 原 和 夫
 生年月日 S 12. 3. 12
 委員会 親 睦
 職業分類 歯 科 医
 勤務先 松原歯科医院 院長
 橘通西 4 丁目 1 - 30 TEL 28-1166
 自 宅 霧島 4 - 70 TEL 24-2123



氏名 松 本 広 行
 生年月日 S 2. 7. 21
 委員会 職 業 奉 仕
 職業分類 総 合 建 設
 勤務先 松本建設(株) 代表取締役
 清水 1 - 9 - 24 TEL 25-3208
 自 宅 清水 1 - 10 - 4 TEL 25-6234



氏名 丸 山 大 藏
 生年月日 S 18. 6. 14
 委員会 出 席
 職業分類 火 災 保 険
 勤務先 住友海上火災保険(株)宮崎支店 支社長
 広島 2 丁目 4 - 12 TEL 29-3411
 自 宅 昭和町132 TEL 29-0187



氏名 南 隆 一
 生年月日 S 17. 11. 10
 委員会 副 会 計
 職業分類 短 期 金 融
 勤務先 (株)福岡シティ銀行宮崎支店 支店長
 橘通東 3 - 4 - 6 TEL 24-5115
 自 宅 神宮東 2 - 3 - 17 TEL 23-0417



氏名 宮下 廣計
生年月日 T 15. 4. 8
委員会 職業奉仕
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 宮下呉服店 社長
橋通西3-3-24
自 宅 大工1-8-22

TEL 27-3218
TEL 24-0715



氏名 村上 四朗
生年月日 S 8. 7. 3
委員会 社会奉仕
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 吉原建設(株) 専務取締役支店長
天満3-1-42
自 宅 天満3-1-41

TEL 51-2789
TEL 51-2789



氏名 山口 賢一郎
生年月日 S 22. 1. 15
委員会 親 睦
職業分類 食料乾物配布
勤務先 山口商店 専務
橋通西2丁目2番10号
自 宅 大和町41

TEL 27-2010
TEL 25-6388



氏名 吉賀 幸夫
生年月日 T 3. 9. 17
委員会 国際奉仕
職業分類 シニア・アクチブ
勤務先 吉賀医院 院長
清水1-5-22
自 宅 清水1-5-22

TEL 25-4771
TEL 28-4171



氏名 吉田 多毅
生年月日 S 12. 10. 24
委員会 国際奉仕
職業分類 土木設計
勤務先 九州工営(株) 代表取締役
大工2-117
自 宅 桜ヶ丘30-19

TEL 28-1122
TEL 47-6323

編 集 後 記

宮崎西ロータリークラブが平成2年（1990年）に創立30周年を迎え躍進へのステップとするため式典と祝賀会が盛大に開催された。

その記念事業のひとつである記念史を発行することになった。編集に当って、さて実行となりますと記録の不備、散逸のものもあり資料の収集、原稿依頼と大変なものであり、編集員、事務局には御苦勞をおかけしましたが、ここに発刊するはこびになりました。又、歴代会長並びに寄稿いただいた会員各位に感謝申し上げます。予算の都合もあり、すでに20周年記念史で詳細な記録が記載されており、この30周年記念史は、20周年以降の10年間に収集いたしました。特に21代会長より30代会長までの各年度の出来ごとを主に編集いたしました。

30年の歴史は長く、本史だけではとてもつくしませんが過去にできている。5周年記念史、10周年記念史、20周年記念史という立派なもののおあとを受け継いで粗雑の感は免れません興味をもって読んで戴ければ幸いです。

平成2年12月

記念史委員長

角 地 次 男

30周年記念史委員会

委員長	角 地 次 男	委 員	市 来 齊
副委員長	田 崎 博 俊	〃	小 林 貞 雄
委 員	大 健 耕 詞	〃	長 峰 市 次
〃	長 崎 康 啓	〃	内 村 龍 祐
〃	前 田 暢 俊	〃	小 川 次 男
〃	黒 木 満 夫	〃	菊 池 彰
〃	川 野 良 博	〃	塚 久
〃	奥 彰	〃	岩 切 宏 海
〃	神 崎 義 世	〃	井 手 脇 万 詔
〃	原 忠 之	〃	飯 泉 喜 八 郎
〃	門 田 廣	〃	大 江 幸 政
〃	荒 川 隆	事 務 局	横 井 み よ 子

